

2020年 3月期 中間説明会



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



2019 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



Plastics
Smart



2016
攻めのIT経営銘柄
Competitive IT Strategy Company

平成27年度
地球温暖化防止活動環境大臣表彰



Minister of the Environment
対策活動実践・普及部門



株式会社エフピコ
2020年 11月6日

本資料取扱のご注意

本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報に関しまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、無断での引用や転載、複製は禁じられております。

=目次=

◆ <u>実績及び計画</u>	専務取締役経理財務本部長	池上 功	4
◆ <u>企業価値拡大に向けて</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	15
◆ 添付資料			58

2020年3月期 第2四半期

決算概要

専務取締役 経理財務本部長

池上 功

決算概要 (2020年3月期 第2四半期累計 実績)

単位: 百万円	上期 実績							上期 計画			通期 計画		
	2019年3月期		2020年3月期					2020年3月期			2020年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	増減	前年比	数量	計画	構成比	計画比	計画	構成比	進捗率
トレー	16,062	17.9	17,674	19.0	+1,612	110.0%	105.4%	17,000	18.5	104.0%	34,800	18.7	50.8%
弁当・惣菜	50,265	56.1	51,573	55.5	+1,308	102.6%	102.0%	51,330	55.8	100.5%	103,660	55.7	49.8%
小計	66,327	74.0	69,247	74.5	+2,920	104.4%	103.1%	68,330	74.3	101.3%	138,460	74.4	50.0%
その他製品	1,664	1.9	1,581	1.7	△83	95.0%		1,670	1.8	94.7%	3,340	1.8	47.3%
製品売上高	67,991	75.9	70,829	76.2	+2,837	104.2%		70,000	76.1	101.2%	141,800	76.2	49.9%
包装資材	18,698	20.9	19,216	20.7	+518	102.8%		18,900	20.5	101.7%	37,800	20.3	50.8%
その他商品	2,886	3.2	2,856	3.1	△30	98.9%		3,100	3.4	92.1%	6,400	3.4	44.6%
商品売上高	21,585	24.1	22,072	23.8	+487	102.3%		22,000	23.9	100.3%	44,200	23.8	49.9%
売上高	89,577	100.0	92,901	100.0	+3,324	103.7%		92,000	100.0	101.0%	186,000	100.0	49.9%
営業利益	6,160	6.9	7,094	7.6	+934	115.2%		7,250	7.9	97.9%	15,500	8.3	45.8%
経常利益	6,483	7.2	7,445	8.0	+961	114.8%		7,400	8.0	100.6%	16,000	8.6	46.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,345	4.9	4,842	5.2	+496	111.4%		4,950	5.4	97.8%	10,600	5.7	45.7%

過去最高

売上高 5期連続増収
過去最高更新

償却前経常利益 12,989 14,148 +1,158 108.9% 14,160 99.9% 29,730 47.6%

■ 販売

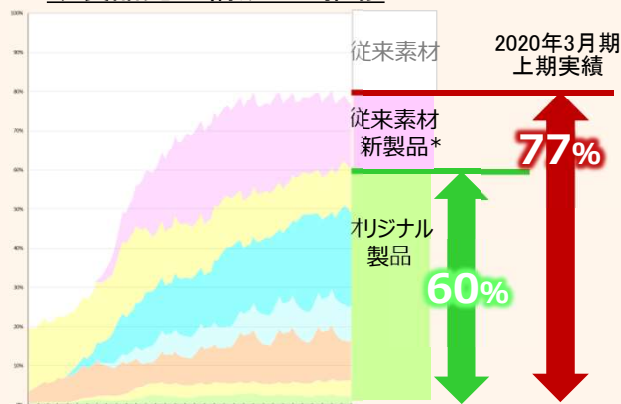
製品>

- ・電子レンジ対応製品、エコ製品の販売が好調
- ・人手不足対応など、高付加価値製品の拡充

商品>

- ・MD商品の拡大強化
- ・ECサイト「パックマーケット」を活用し
小規模小口顧客への販売拡大

◇製品売上構成比 推移

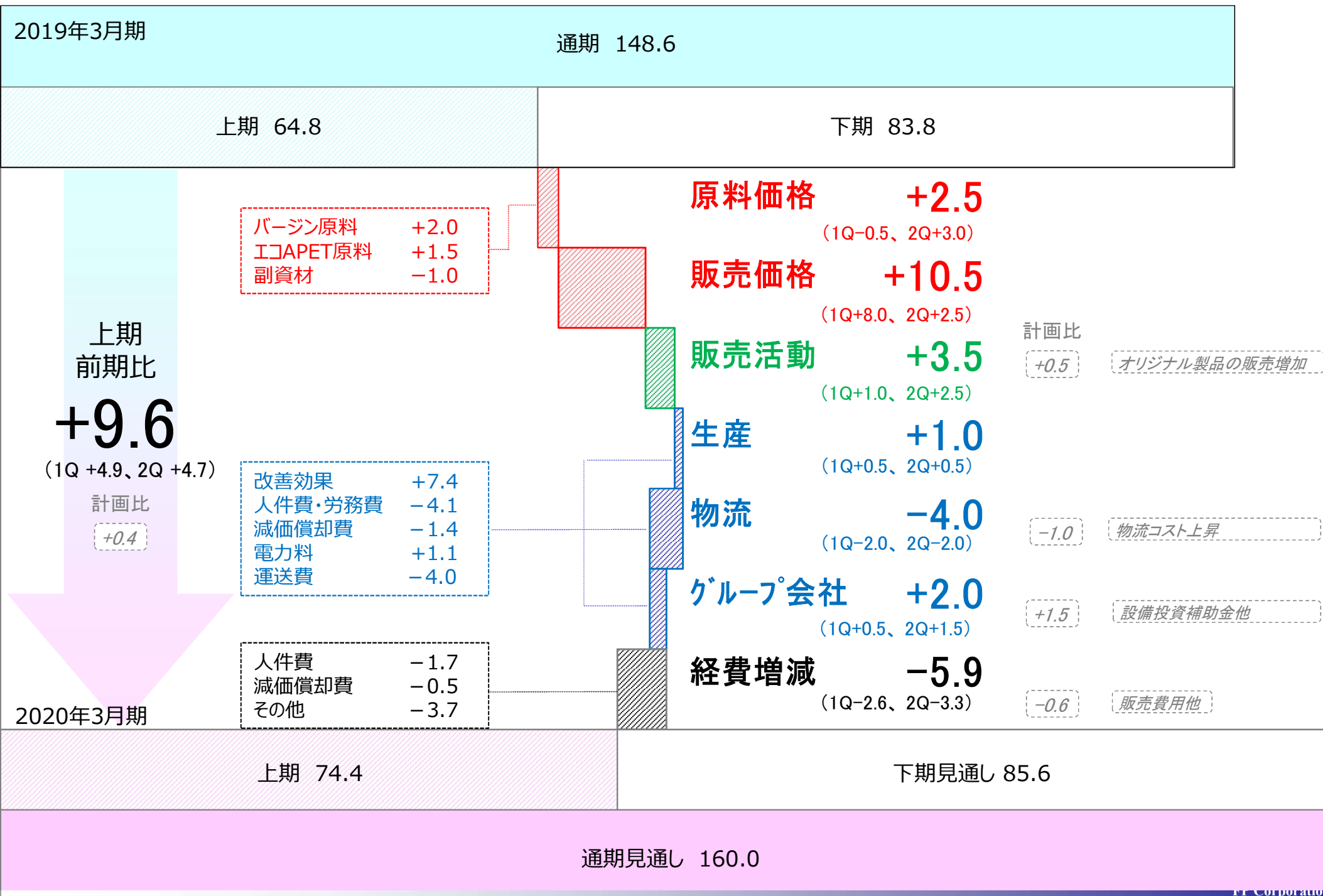


◇実績前年比

	1Q 実績	2Q 実績	上期実績	通期 期初計画
製品売上高	102.6%	105.7%	104.2%	103.1%
製品枚数	100.8%	105.4%	103.1%	103.0%
経常利益	119.3%	111.9%	114.8%	107.7%

経常利益 利益増減 実績 (2020年3月期 第2四半期累計)

単位：億円



2019年3月期

通期 148.6

上期

下期
見通し

上期 64.8

下期 83.8

原料価格 **+5.0**

計画比
+0.5

上期差異 下期見通し変更点

+0.5

バージン 原料 +9.5
エコAPET原料 -2.0
副資材 -2.5

+2.5

+2.5

販売価格 **+10.5**

+1.5

+0.5

+1.0

+10.5

±0.0

前期比

販売活動 **+8.5**

+3.5

+5.0

生産 **+2.5**

+1.0

+1.5

物流 **-7.5**

-1.5

-1.0

-0.5

改善効果 +11.5
人件費・労務費 -4.8
減価償却費 -4.1
電力料 +3.0
運送費 -8.5

-4.0

-3.5

グループ会社 **+2.1**

+0.1

+1.5

-1.4

+2.0

+0.1

経費増減 **-9.7**

-0.6

-0.6

人件費 -1.8
減価償却費 -1.5
その他 -6.4

-5.9

-3.8

+11.4

上期 +9.6

+0.4

下期 +1.8

-0.4

2020年3月期

上期 74.4

下期見通し 85.6

通期見通し 160.0

設備投資・研究開発費 (2020年3月期 第2四半期累計 実績)

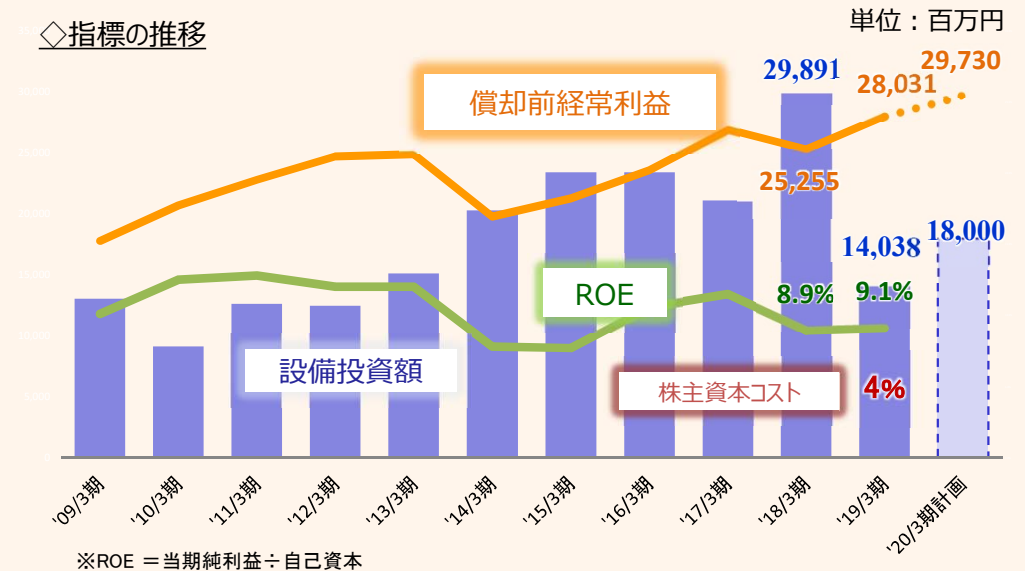
単位: 百万円	上期 実績				上期 計画		通期 計画	
	2019年3月期 実績	2020年3月期			2020年3月期		2020年3月期	
		実績	増減	前年比	計画	計画比	計画	進捗率
有形固定資産	6,223	4,429	△1,794	71.2%	6,600	67.1%	17,700	25.0%
無形固定資産	207	181	△25	87.5%	100	181.5%	300	60.5%
設備投資	6,431	4,610	△1,820	71.7%	6,700	68.8%	18,000	25.6%
減価償却費	6,506	6,702	+196	103.0%	6,760	99.2%	13,730	48.8%
研究開発費	553	597	+43	107.9%	640	93.3%	1,310	45.6%

【主な設備投資】

単位: 百万円

	投資総額	2020年3月期		
		通期計画	上期実績	
再生原料及び製品の能力増強・効率改善・品質向上				
◆ エコAPET原料 生産能力増強(関東・九州)	1,050	280	249	
◆ エコAPET原料 生産性向上(関東・中部)	420	420	49	
◆ エコAPET原料 ペレット化による品質向上(中部)	600	160	153	
◆ エコAPET製品 シート押出・成形能力増強				
◆ PSP製品 成形能力増強	2,200	1,860	391	
◆ 自動化設備の導入	1,240	1,240	924	
		630	136	
安定供給・働く環境整備				
◆ 福山新配送センター	2020年 冬 完成予定	4,345	1,260	60
◆ 中部新配送センター	2021年 春 完成予定	5,285	1,320	5
◆ 古河独身寮	2020年 3月 完成予定	611	580	64
◆ 福山独身寮・グループホーム	2020年 9月 完成予定	1,054	1,000	1
◆ 金型			1,870	764
◆ IT投資			600	274

◇指標の推移



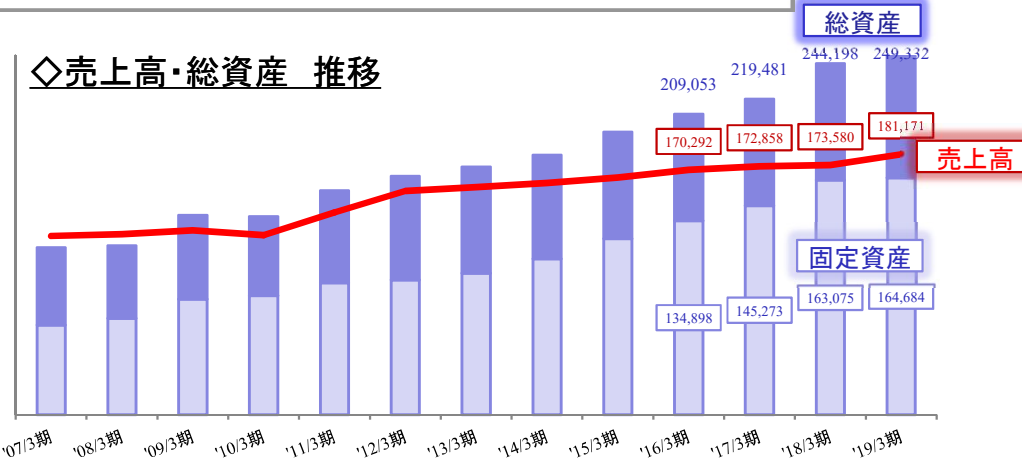
貸借対照表

(2020年3月期 第2四半期累計 実績)

単位: 百万円	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間			
	2019年3月期 2019/3/31	2020/9/30	増減	前年比	主な増減内訳
流動資産	84,647	77,702	△6,945	91.8%	現金及び預金 △1,291 受取手形及び売掛金 △3,676 商品及び製品 △1,224
固定資産	164,684	161,994	△2,689	98.4%	
資産合計	249,332	239,696	△9,635	96.1%	
流動負債	76,854	76,387	△466	99.4%	買掛金 △1,840 短期借入金 +5,953 未払金 △2,385 未払消費税等 △1,311
固定負債	60,279	47,985	△12,294	79.6%	長期借入金 △11,716
負債合計	137,133	124,372	△12,761	90.7%	
純資産合計	112,198	115,324	+3,125	102.8%	利益剰余金 +3,147
負債純資産合計	249,332	239,696	△9,635	96.1%	

自己資本比率 47.9%

- 資産 オリジナル製品の能力増強と安定供給への戦略投資
- 負債 戦略投資の原資として借入金の活用
- 純資産 経営体質の充実強化
事業拡大に向けた機動的な対応への備え



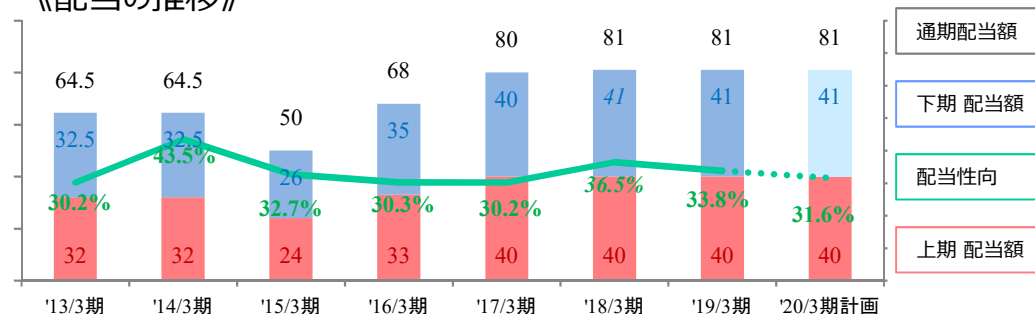
キャッシュ・フロー

(2020年3月期 第2四半期累計 実績)

単位: 百万円	上期	
	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績 主な内訳
営業活動によるC/F	12,068	12,906 税金等調整前当期利益 7,254 減価償却費 6,702 売上債権の増減額 3,672 たな卸資産の増減額 1,040 仕入債務の増減額 △ 1,840 法人税等の支払額 △ 3,334
投資活動によるC/F	△ 10,567	△ 5,373 有形固定資産の取得 △ 5,261
フリーキャッシュフロー	1,501	7,532
財務活動によるC/F	2,570	△ 8,824 長期借入れによる収入 3,000 長期借入金の返済 △ 8,763 リース債務の返済 △ 1,356 配当金の支払額 △ 1,694
現金及び現金同等物の増減額	4,071	△ 1,291
現金及び現金同等物の期末残高	19,731	17,860

- 営業CF オリジナル製品販売と合理化による利益確保
- 投資CF 収益基盤構築に向けた戦略投資を実施
- 財務CF 継続的に安定した配当の実施

《配当の推移》



2020年3月期 計 画

決算計画概要 (2020年3月期 計画)

単位: 百万円	通期 実績		通期 計画				上期 計画			
	2019年3月期		2020年3月期				2020年3月期			
	実績	構成比	計画	構成比	増減	前年比	計画	構成比	増減	前年比
トレー	33,121	18.3	34,800	18.7	+1,678	105.1%	17,000	18.5	+937	105.8%
弁当・惣菜	101,108	55.8	103,660	55.7	+2,551	102.5%	51,330	55.8	+1,064	102.1%
小計	134,229	74.1	138,460	74.4	+4,230	103.2%	68,330	74.3	+2,002	103.0%
その他製品	3,350	1.8	3,340	1.8	△10	99.7%	1,670	1.8	+5	100.3%
製品売上高	137,579	75.9	141,800	76.2	+4,220	103.1%	70,000	76.1	+2,008	103.0%
包装資材	36,823	20.3	37,800	20.3	+976	102.7%	18,900	20.5	+201	101.1%
その他商品	6,768	3.7	6,400	3.4	△368	94.6%	3,100	3.4	+213	107.4%
商品売上高	43,592	24.1	44,200	23.8	+607	101.4%	22,000	23.9	+414	101.9%
売上高	181,171	100.0	186,000	100.0	+4,828	102.7%	92,000	100.0	+2,422	102.7%
営業利益	13,949	7.7	15,500	8.3	+1,550	111.1%	7,250	7.9	+1,089	117.7%
経常利益	14,861	8.2	16,000	8.6	+1,138	107.7%	7,400	8.0	+916	114.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,901	5.5	10,600	5.7	+698	107.1%	4,950	5.4	+604	113.9%

償却前経常利益 28,031 29,730 +1,698 106.1% 14,160 +1,170 109.0%

■ 販売

- 製品> ・電子レンジ対応製品、エコ製品の販売拡大
・宅配、冷凍、青果など新マーケットへの高機能製品提案

出荷枚数 : 前年比103%の伸長
トレー容器 : エコ製品を中心に販売拡大
弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱等の機能を備えたオリジナル製品に加え、魅力的な売り場づくりとバックヤードの効率化をサポートする新製品の提案

商品> マーチャンダイジング・物流・ITインフラを活用し、小規模小口顧客への販売強化

◇ 生産

- ・エコAPET原料の生産能力強化
- ・産業用ロボット導入による省人化

◇ 物流

- ・自社物流活用と積載効率改善によるコスト上昇抑制
- ・倉庫オペレーションの自動化

◇ ESG

- ・地上資源の循環および障がい者の雇用を推進

経常利益 利益増減 見通し (2020年3月期計画)

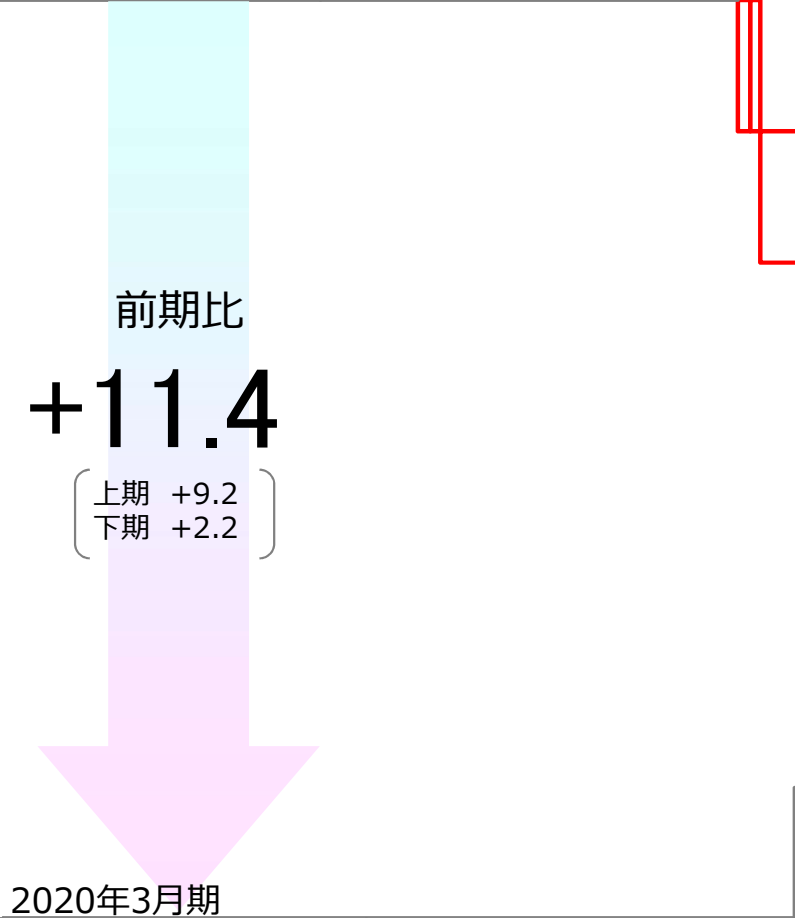
期初時点

単位：億円

上期	下期
----	----

2019年3月期	
通期 148.6	

上期 64.8	下期 83.8
---------	---------



2020年3月期	
上期見通し 74.0	下期見通し 86.0

通期見通し 160.0	
-------------	--

原料価格 +4.5

(上期 +2.5、下期 +2.0)

販売価格 +10.5

(上期 +10.5、下期 ±0.0)

販売活動 +7.0

(上期 +3.0、下期 +4.0)

生産 +2.5

(上期 +1.0、下期 +1.5)

物流 -6.0

(上期 -3.0、下期 -3.0)

グループ会社 +2.0

(上期 +0.5、下期 +1.5)

経費増減 -9.1

(上期 -5.3、下期 -3.8)

合計 +11.4

(上期 +9.2、下期 +2.2)

-1.5

バージン 原料	+9.0
エコAPET原料	-2.0
副資材	-2.5

改善効果	+11.4
人件費・労務費	-4.8
減価償却費	-4.1
電力料	+3.0
運送費	-7.0

人件費	-1.8
減価償却費	-1.5
その他	-5.8

設備投資・研究開発費 計画 (2020年3月期 計画)

	通期 実績	通期 計画			上期 計画		
	2019年3月期	2020年3月期			2020年3月期		
単位:百万円	実績	計画	増減	前年比	計画	増減	前年比
有形固定資産	13,442	17,700	+4,257	131.7%	6,600	+376	106.0%
無形固定資産	595	300	△295	50.4%	100	△107	48.2%
設備投資	14,038	18,000	+3,961	128.2%	6,700	+268	104.2%
減価償却費	13,170	13,730	+559	104.2%	6,760	+253	103.9%
研究開発費	1,159	1,310	+150	113.0%	640	+86	115.6%

【主な設備投資】

単位:百万円 投資総額 2020年3月期 計画

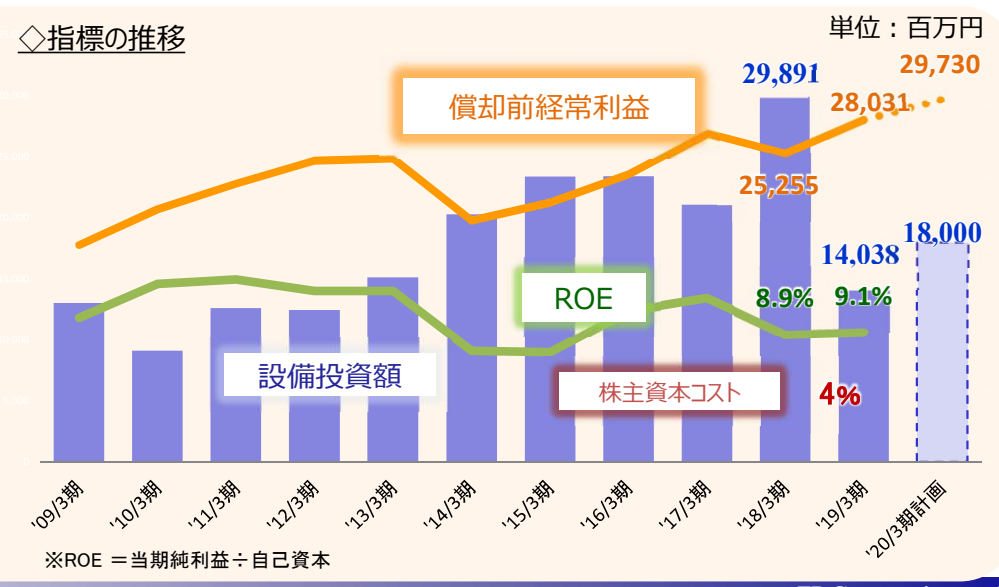
オリジナル製品への投資: エコAPET製品の生産能力・品質向上

◆ エコAPET原料 生産能力増強(関東・九州)	280	280
◆ エコAPET原料 生産性向上(関東・中部)	420	420
◆ エコAPET原料 ペレット化による品質向上(中部)	600	160
◆ エコAPET製品 シート押出・成形能力増強(下館・中部)	2,140	1,800

販売量拡大への投資: 安定供給・効率改善・働く環境整備

◆ 自動化設備の導入			
◆ 福山新配送センター	2020年 冬 完成予定	4,345	1,260
◆ 中部新配送センター	2021年 春 完成予定	5,285	1,320
◆ 福山独身寮・グループホーム	2020年 3月 完成予定	1,054	1,000
◆ 古河独身寮	2020年 3月 完成予定	611	580
◆ 金型			1,870
◆ IT投資			600

◇指標の推移



企業価値拡大へ向けて

代表取締役社長

佐藤 守正



株式会社 **エフピコ**

マーケットの状況



小売業界を取り巻く状況

潮流

中食市場の拡大

(エフピコの実践)

人手不足の深刻化

(魅力ある売り場づくりの提案)

物流費の高騰

(バックヤード効率化の提案)

海洋プラスチック問題への関心高まり

(自社便比率・積載効率向上)

(回収量拡大・リサイクル能力増強)

2019年

3月

エフピコフェア



5月

改元・
10連休

6月

G20



10月

消費税増税

- 軽減税率
- キャッシュレス・消費者還元事業
- 幼児教育・保育の無償化



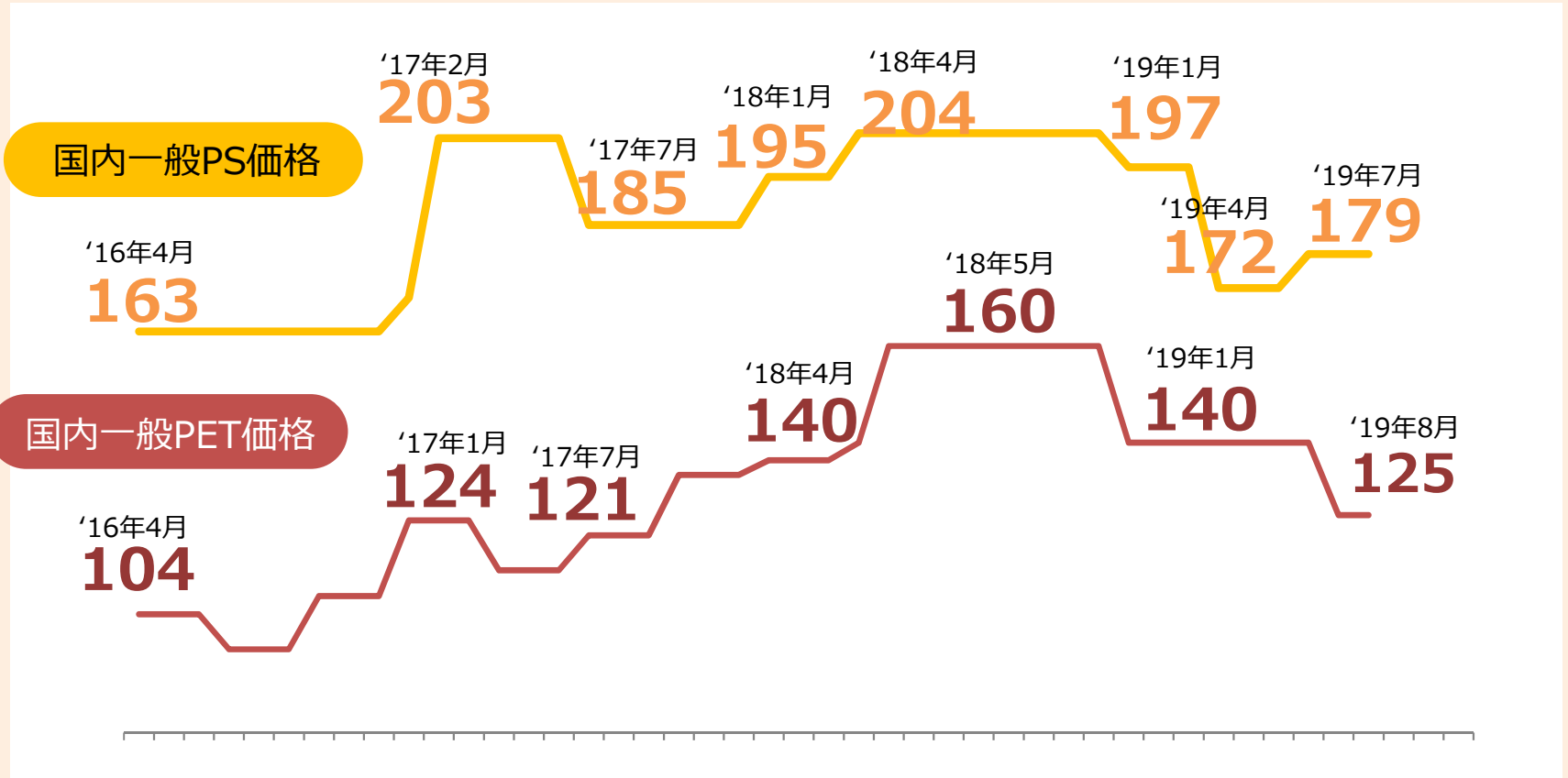
2020年

3月

エフピコフェア

価格動向

原材料

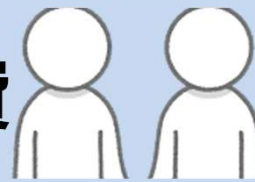


その他経費

物流費



人件費

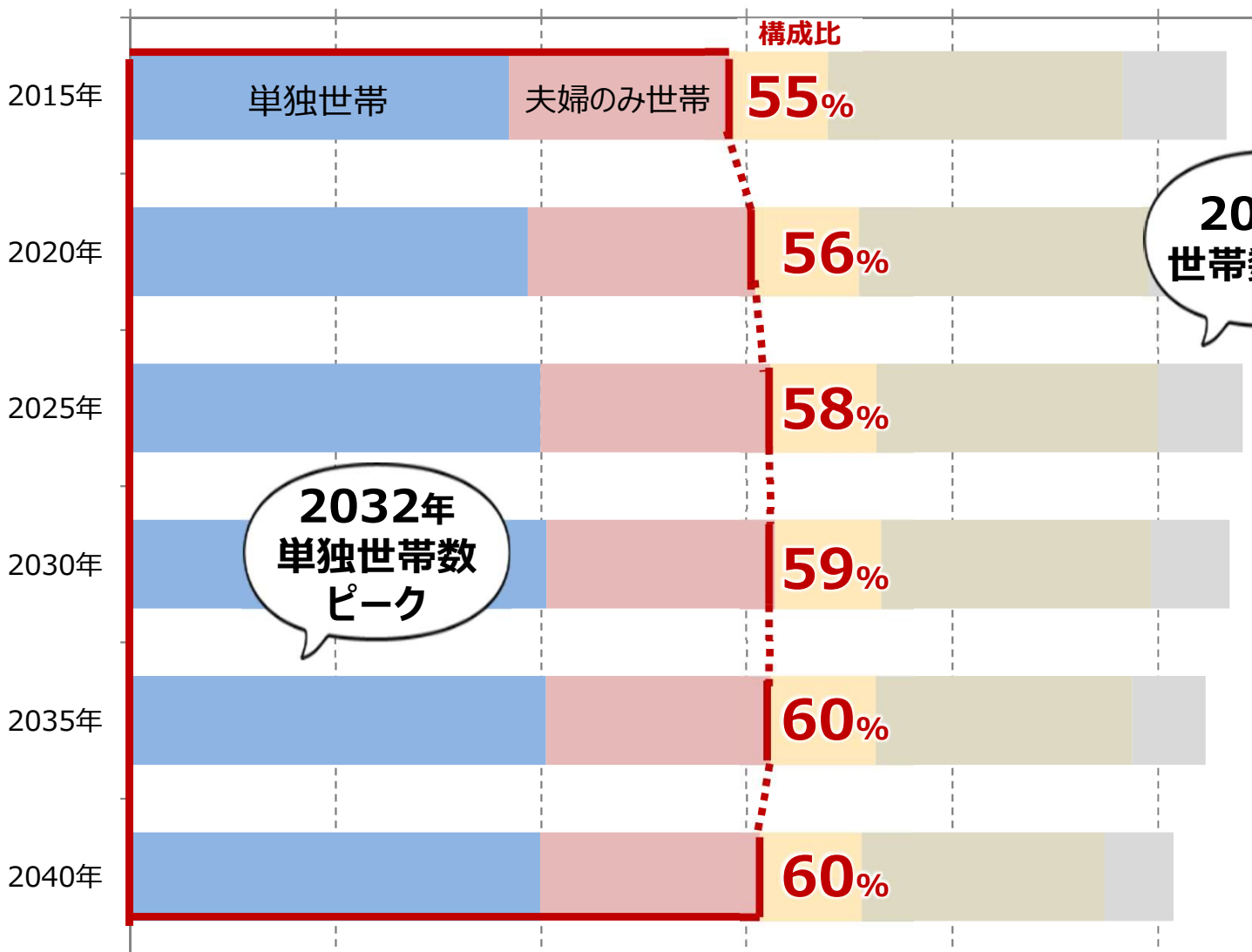


資材費



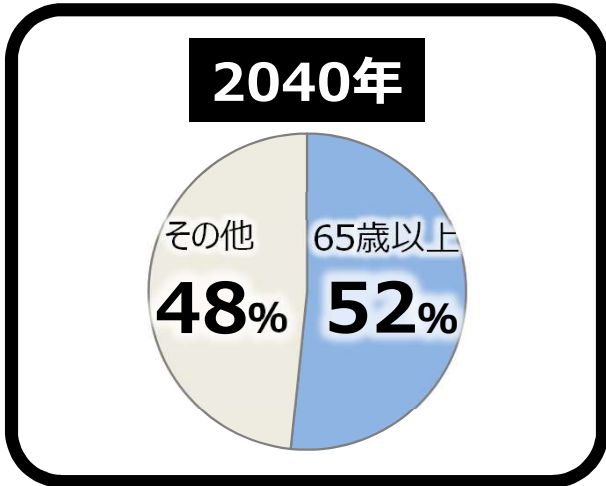
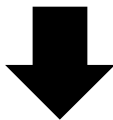
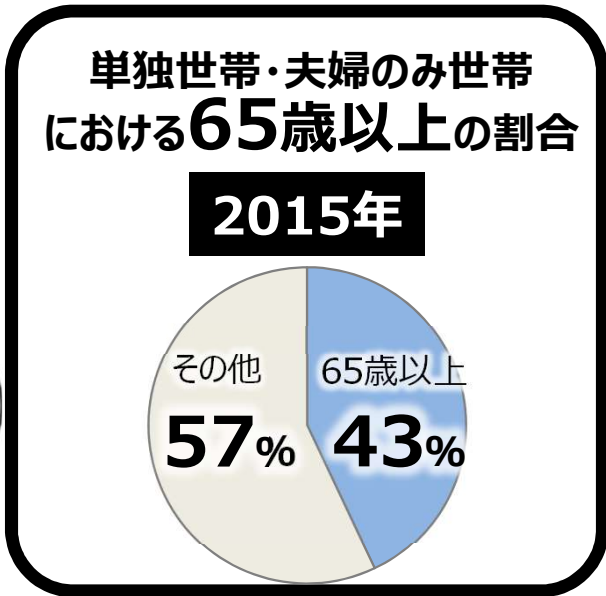
世帯数の推移

- 単独世帯
- 夫婦のみの世帯
- ひとり親と子から成る世帯
- 夫婦と子から成る世帯
- その他の一般世帯



2023年
世帯数ピーク

2032年
単独世帯数
ピーク



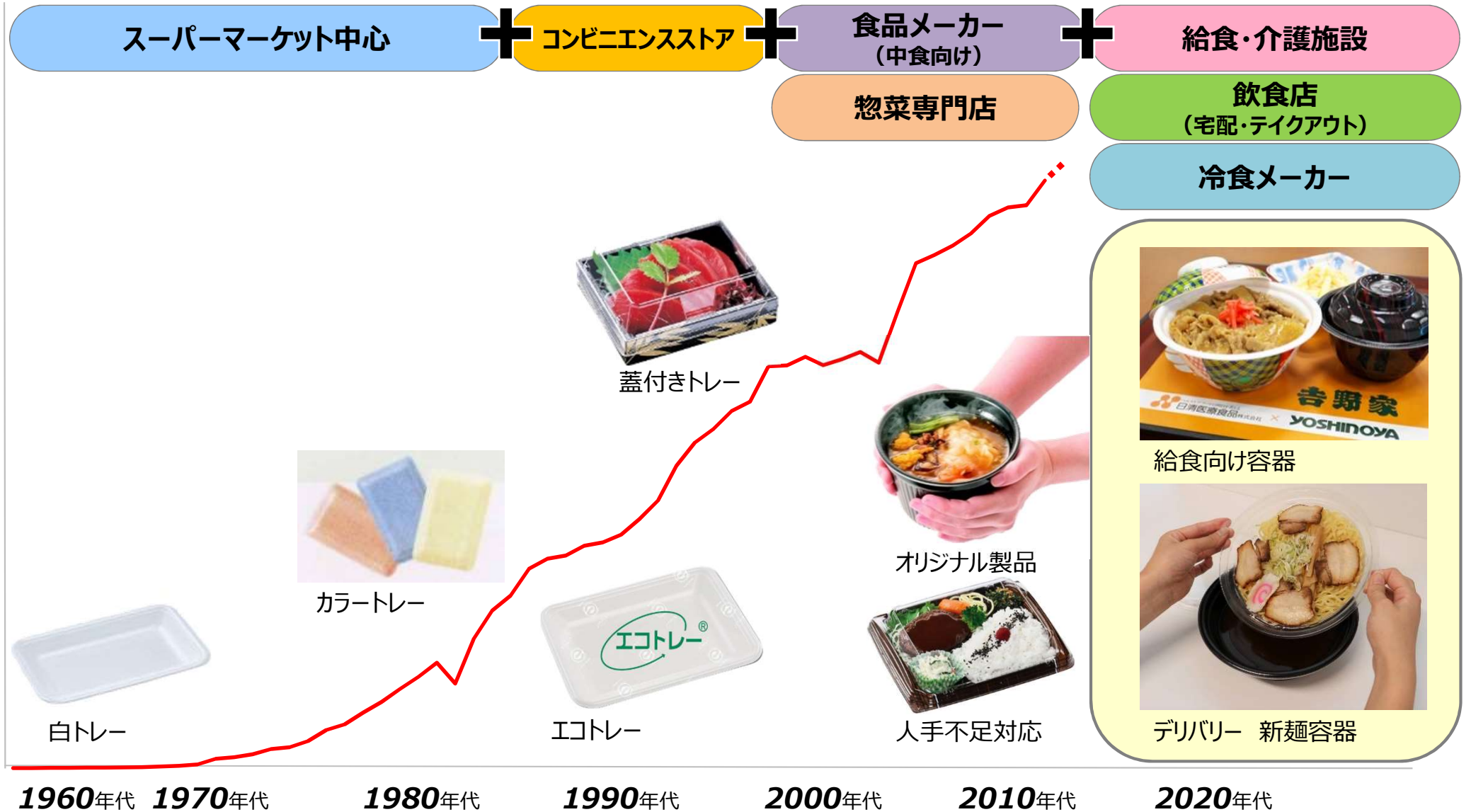
中食市場規模推移



出典：一般財団法人 日本惣菜協会「惣菜白書」、一般社団法人 日本冷凍食品協会「冷凍食品の国内生産及び消費」
 矢野経済研究所「食品宅配市場に関する調査」、その他 当社推定情報を基に当社にて作成
 富士経済「外食デリバリー&テイクアウトサービス 市場の将来展望2019」「高齢者向け食品市場の将来展望2017」

拡大するマーケット

エフピコグループ
売上高



生から惣菜 全国各地で拡大中



販売状況

実施企業数

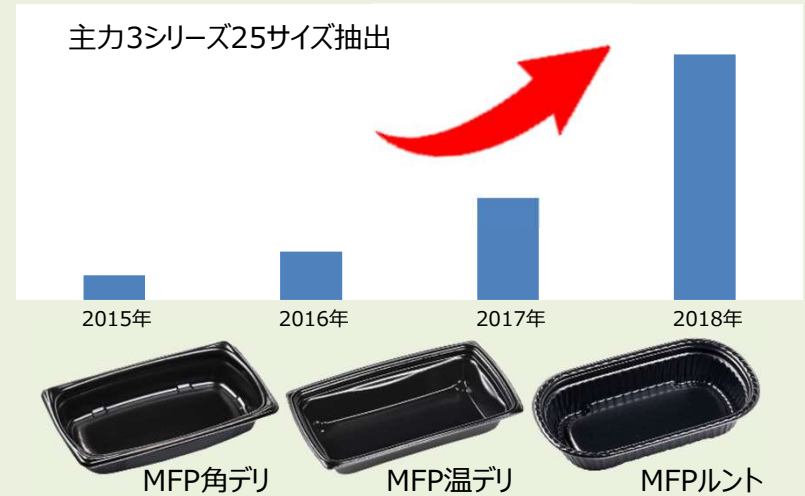
2015年9月 **95社** ▶ 2018年9月 **114社** ▶ 2019年9月 **157社**へ



容器出荷

毎年約**2倍**の量で伸長

主力3シリーズ25サイズ抽出



2019年 秋冬商戦

レンジ鍋がアルミ鍋を上回る予想

※食品ベンダーA社見通し

レンジ鍋

6



アルミ鍋

4



2019年新製品

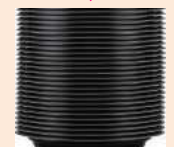
25枚比較



MFPホット鍋



従来品



MFPホット麺

約40%
スタックダウン

消費増税・軽減税率導入

軽減税率「対象」

8%

食品小売
テイクアウト・宅配



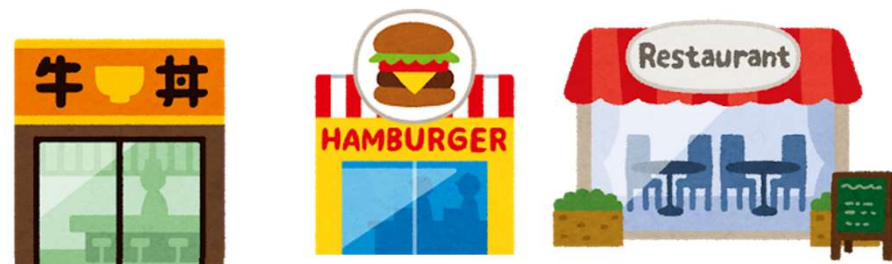
8%?

10%?

軽減税率「対象外」

10%

外食(イートイン含む)



参入加速

新たなるマーケット「宅配」「病院・介護食」

宅配



デリバリー特化型容器 採用スタート



- 汁漏れしにくい
- 冷めにくい

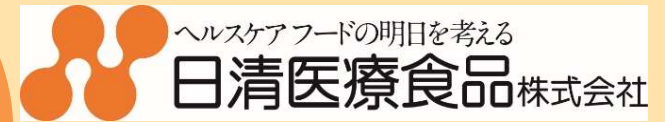


安心して運べる

美味しさ維持



病院 介護



日清医療食品
「みんなの日曜日」提供者数

7月末時点 **約14%**
約**6万人**/約42万人

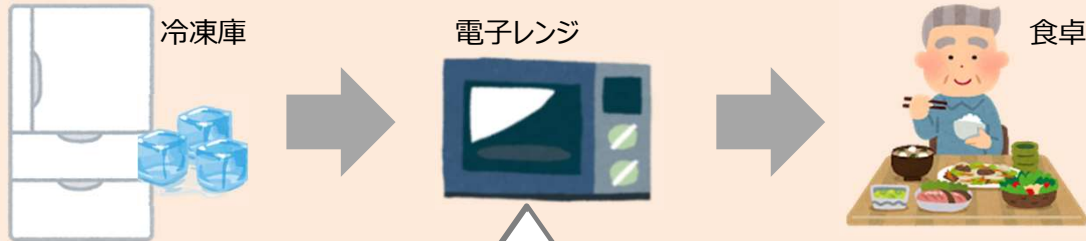
11月末までに **約57%**
約**24万人**/約42万人



新たなマーケット 独自素材を活かし「冷凍」への挑戦

消費者に優しいMFP

耐寒耐熱温度-40℃～110℃だから「冷凍庫保存～電子レンジ加熱」まで対応



電子レンジ加熱に潜むリスク

やけどに注意



断熱性に優れた「MFP」なら

安全安心

中は熱々でも
外は熱くない



冷凍食品(家庭用)国内生産金額推移



出典：一般財団法人日本冷凍食品協会

単位：億円

冷凍流通に強いOPET

冷凍流通に潜むリスク

包装資材の破損

割れが発生

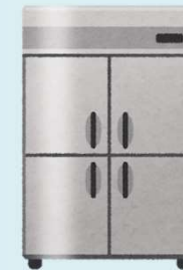


耐寒性に優れた「OPET蓋」なら

割れにくい

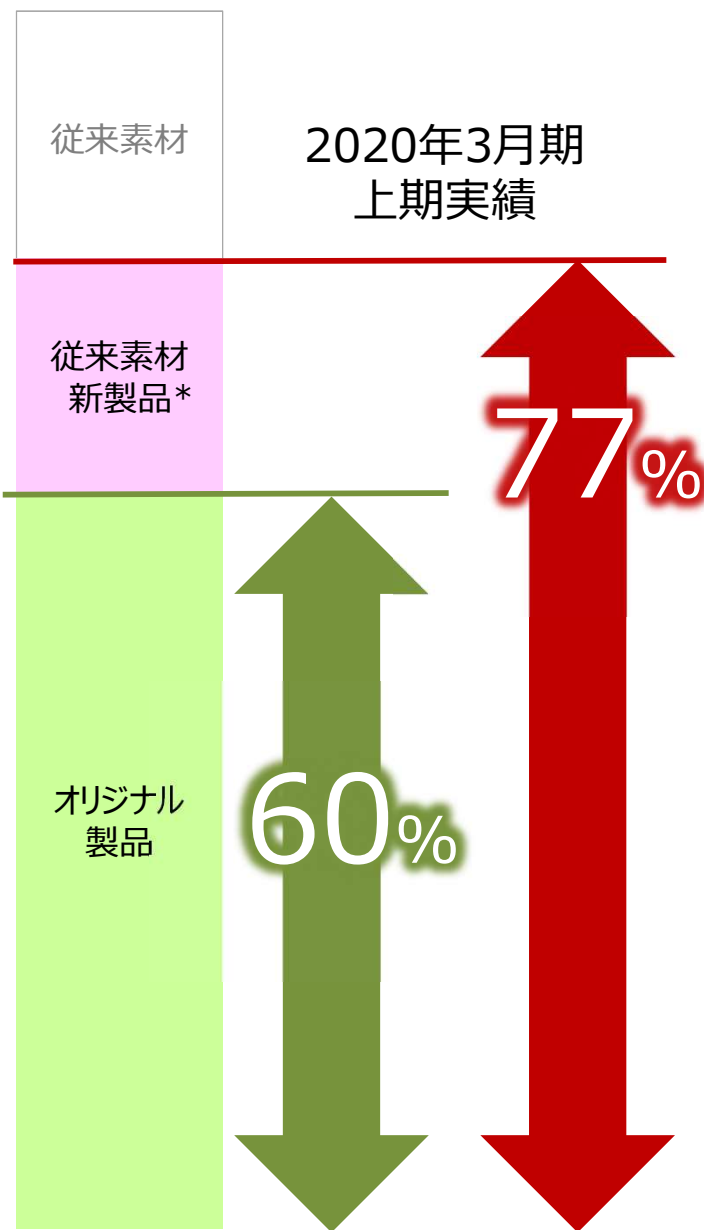
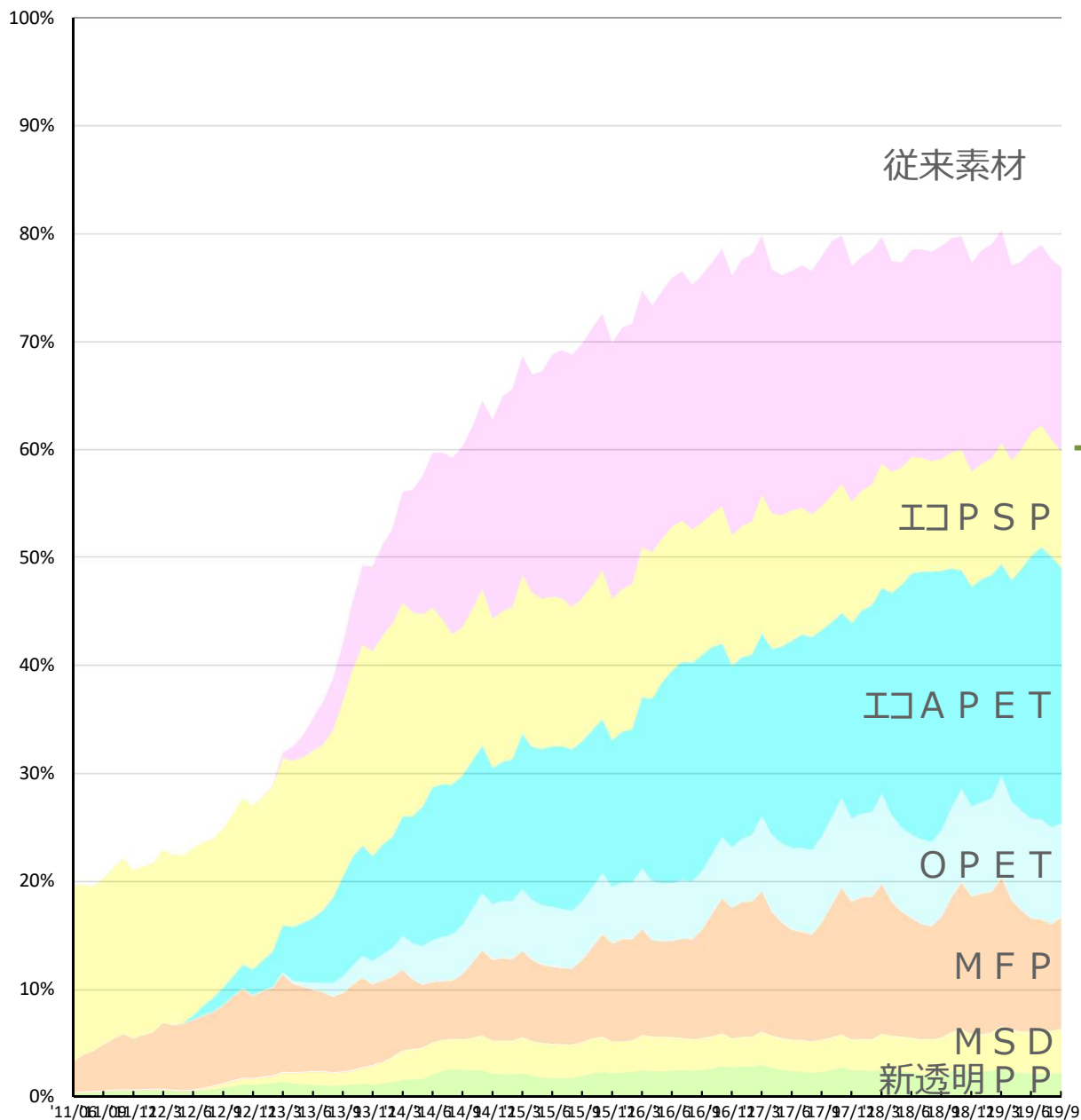


-50℃で保管された状態で落下テスト



テスト頂いたバンダー3社
全て容器破損なし

製品売上構成比 推移



*2015年12月までは2013年1月以降上市した新製品
2016年1月以降は過去3年の新製品

リサイクルの取組み



海洋プラスチック問題 世界と日本の動向

世界の動向



- 2017年 **中国** 廃棄物輸入規制をWTOに通知
- 2018年 **G7** 海洋プラスチック憲章
- 2019年

日本の動向



環境省 プラスチック資源循環戦略

(マイルストーン抜粋)

- ・**2030年**までに容器包装の**6割**をリユース・リサイクル
- ・**2035年**までに使用済みプラスチックを**100%**リユース・リサイクルなどにより有効利用
- ・**2030年**までにバイオプラスチックを**約200万トン**導入

G20 JAPAN 2019



■ 大阪サミット “大阪ブルー・オーシャン・ビジョン”

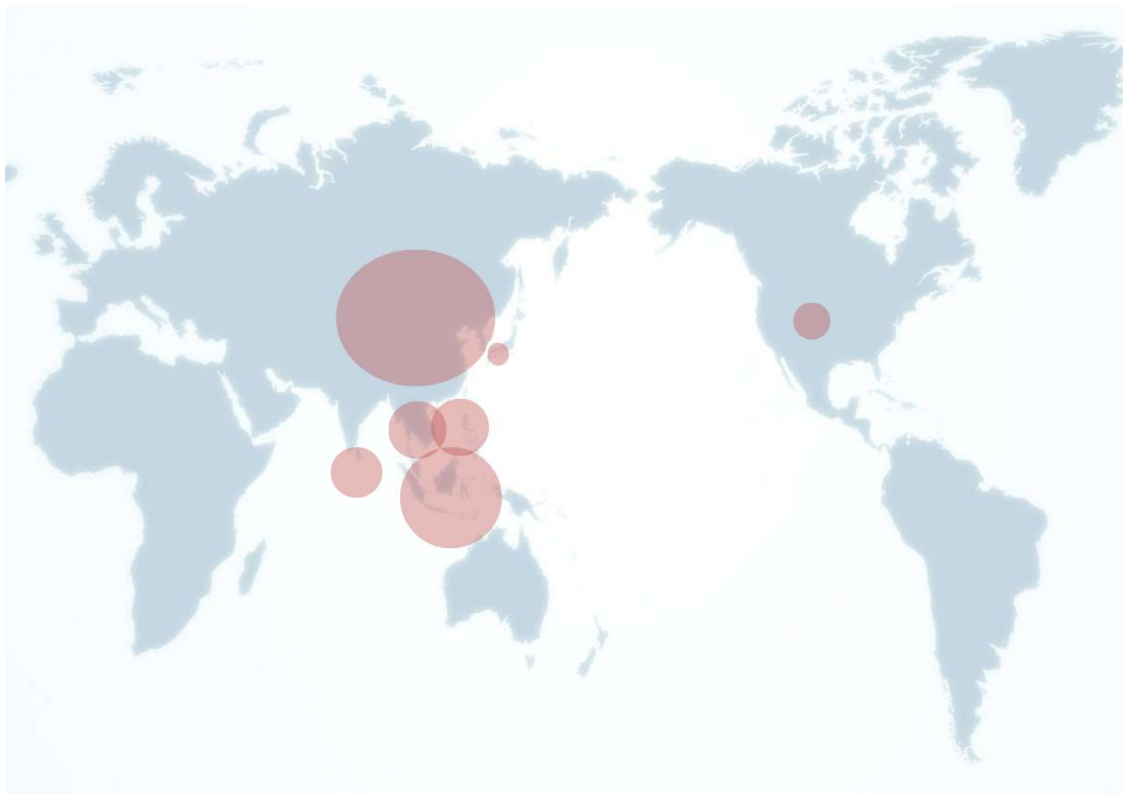
海洋プラスチックごみによる新たな汚染を**2050年**までに**ゼロ**にする








■ 持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合

政府主催の屋外展示“G20イノベーション展”への**出展企業にエフピコが選定**

必要な対策 陸上から海洋への流出防止

陸上から海洋に流出したプラスチックごみ発生量ランキング (2010年推計)



1位 中国	132 ~ 353 万トン/年	
2位 インドネシア	48 ~ 129 万トン/年	
3位 フィリピン	28 ~ 75 万トン/年	
4位 ベトナム	28 ~ 73 万トン/年	
5位 スリランカ	24 ~ 64 万トン/年	
⋮		
20位 アメリカ	4 ~ 11 万トン/年	
⋮		
30位 日本	2 ~ 6 万トン/年	

統計データはないが **インドは 推定400万t/年以上**

※環境省資料を参考に当社にて作成
陸上から海洋に流出したプラスチックごみの発生量(2010年推計)を人口密度や経済状態等から国別に推計
(参考) Plastic Waste inputs from land into the ocean(2015.Feb.Science)

家庭ごみにおけるプラスチックのリサイクル (一般廃棄物)

ペットボトル



約**75**万トン

単一素材

食品容器



約**80**万トン

軟包装



約**300**万トン

複合素材

マテリアルリサイクル

[材料リサイクル]



サーマルリサイクル

[熱回収(Recovery)]



エフピコ方式のリサイクル



歴史

- 1980年 広島ゴミ問題
- 1990年 米国 マクドナルド不買運動
- 1990年 エフピコ方式のリサイクル開始**
- 1995年 容器包装リサイクル法制定
- 1997年 京都議定書
- 2008年 透明容器のリサイクル開始**
- 2010年 PETボトルのリサイクル開始**
- 2015年 パリ協定

容器包装から
紙包装へ変更

導入当初

6店舗

回収拠点

約**30**年

2019年7月時点

9,200拠点



3 R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進



ポスター掲載店舗数の推移



掲載企業 (2019年9月末時点)
約7,247店舗 (199企業)

“使い捨て”ではなく“資源”

重要なのは「適正にリサイクルすること」
 リサイクルの推進活動をおこなってまいります

リサイクル工場見学者数
 年間約**2**万人 累計**46**万人



プラスチック資源の回収



※枚数・本数換算は、標準的なグラム数にて算出
 発泡トレイ：約4g、透明容器：約10g、PETボトル：約25g

容器
(PSP・透明容器)

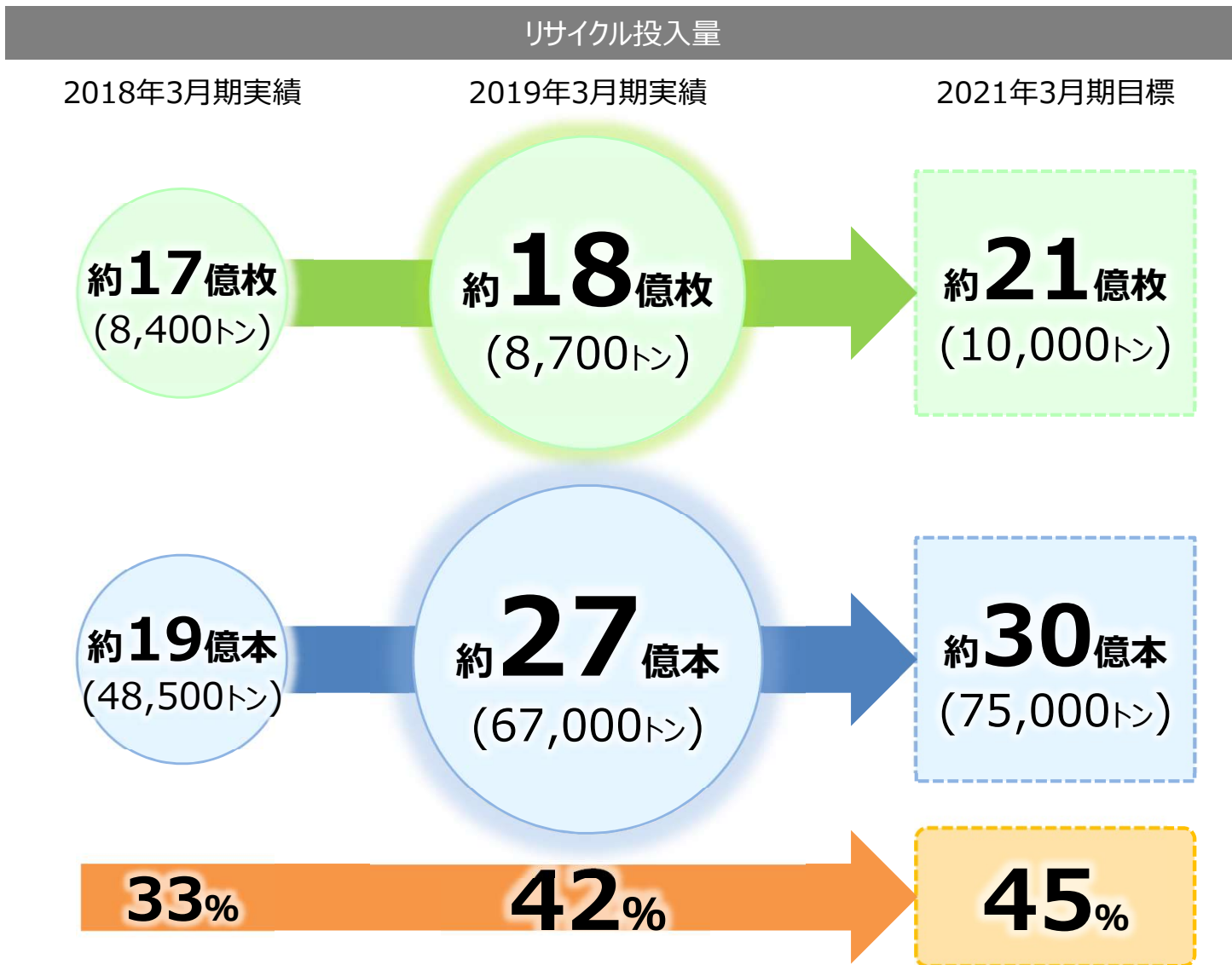
回収ルート
 スーパーマーケット店頭
 指定法人ルート

約**9,200**拠点

PETボトル

回収ルート
 指定法人ルート
 スーパーマーケット店頭
 事業系ルート

製品販売量に対する
 使用済み製品の投入量比率



環境省
 (プラスチック資源循環戦略)

2030年までにプラスチック製容器包装の**6割**をリサイクル又はリユース
2035年までにすべての使用済みプラスチックを熱回収含め**100%**有効利用

エコトレ・エコAPET CO₂削減

エコトレ

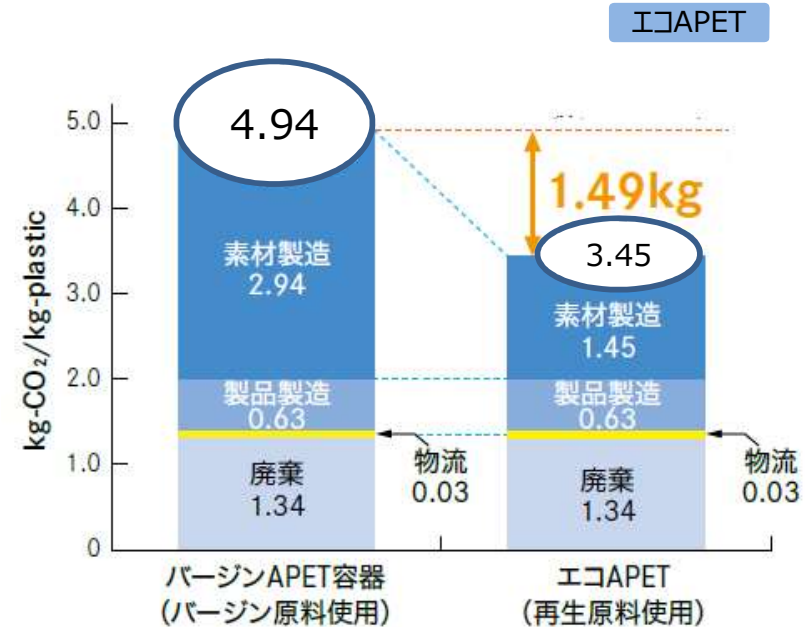
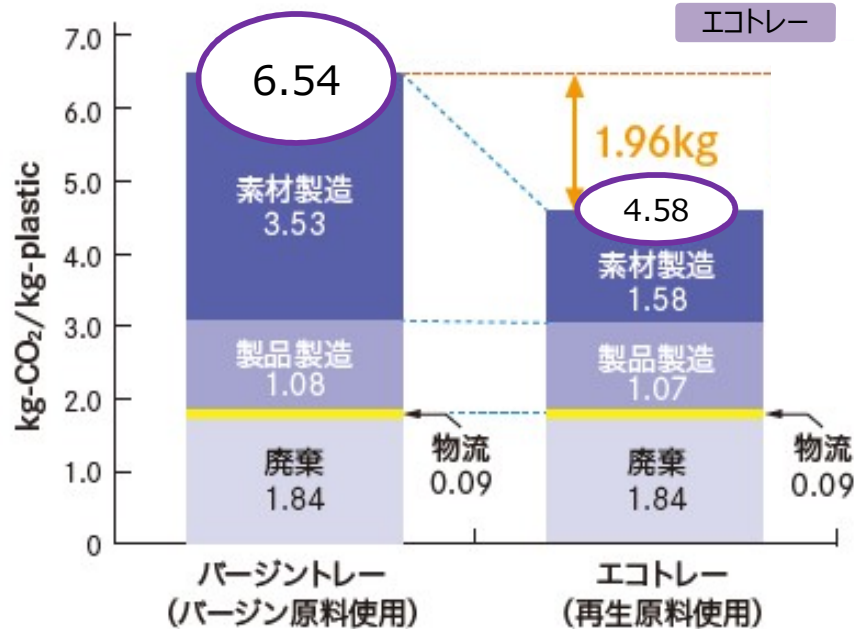
CO₂排出量

エコAPET



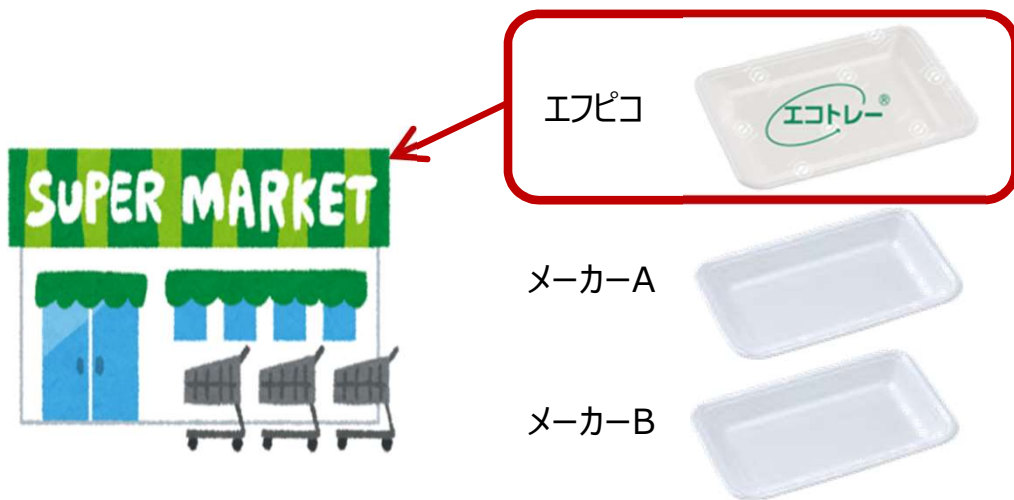
-30%

2019年3月期CO₂排出量
年間**13.5万t**削減
(エコトレ 3.3万t / エコAPET 7.8万t / エコPET 2.3万t)



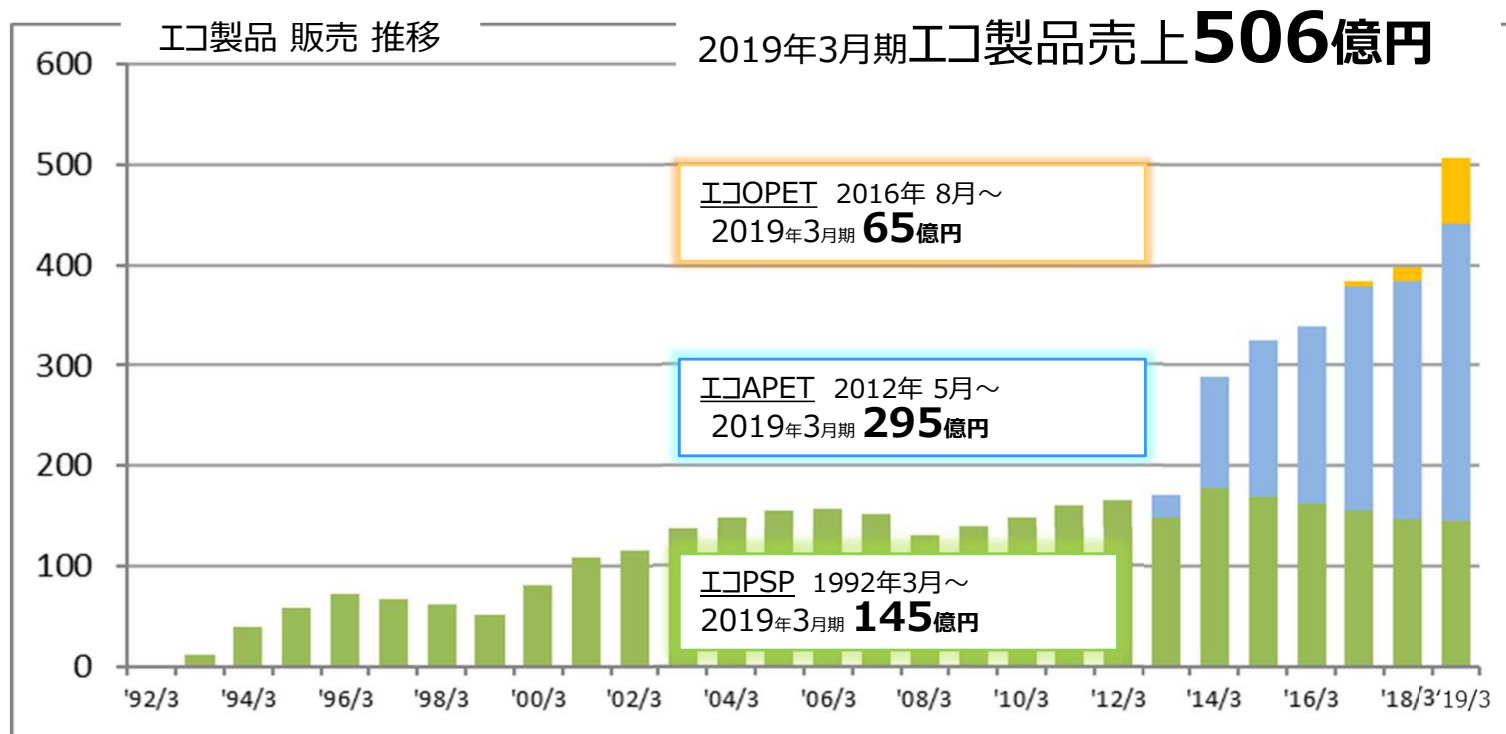
エピック製品のLCA (ライフサイクルアセスメント) 比較

環境に配慮した“エコ”製品を積極的に採用



ESGが取引先を選ぶ1つの理由

リサイクルの取組みをホームページや社内報で紹介



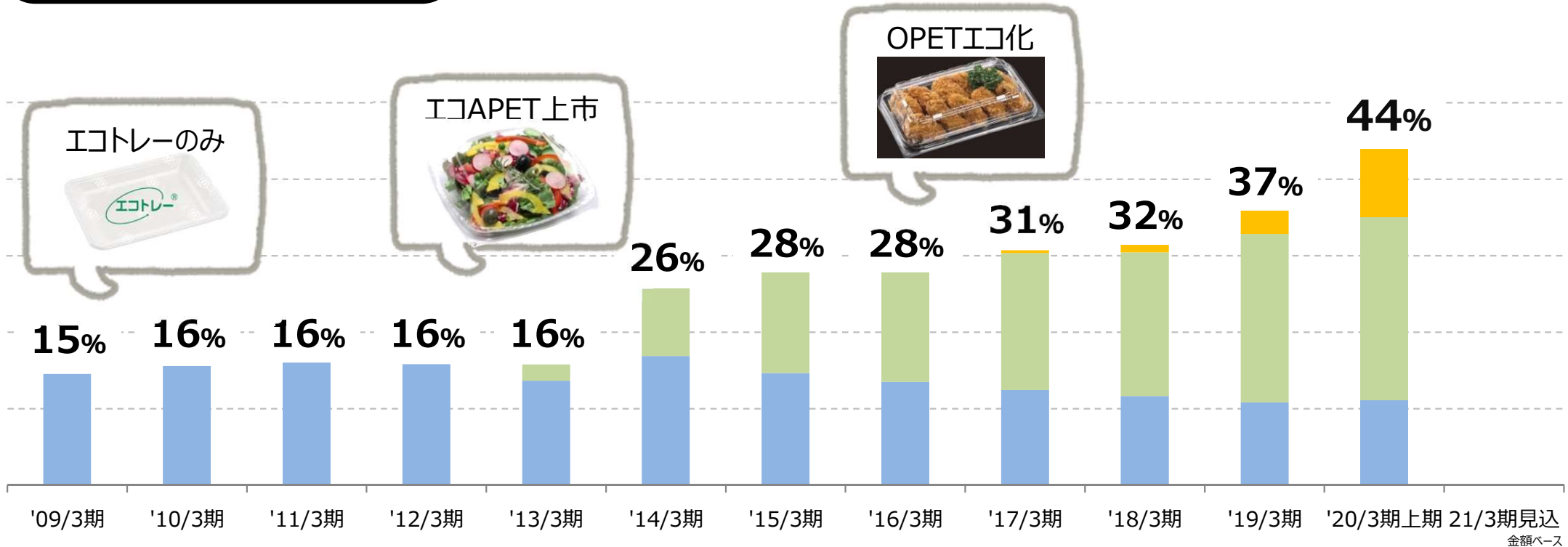
IJPSP
2020年3月期
前年比 (上期)

109%

リサイクル投資 と エコ比率

エコ製品 売上構成比

■ エコPSP ■ エコAPET ■ エコOPET



リサイクル投資 (機械のみ)	中部 29億円		九州 8億円 <small>※株式取得を含む</small>		関東 32億円	九州能力増強 7億円 関東能力増強 1億円		
再生PET原料 供給能力	1万t	2万t		3万t		5万t	5.7万t <small>上期 2.9万t 下期 2.8万t</small>	6万t
PETエコ化率(OPET含む) 第4四半期平均	49%		52%	57%	65%	69%	97%	98%

軽量化・ロースタック化



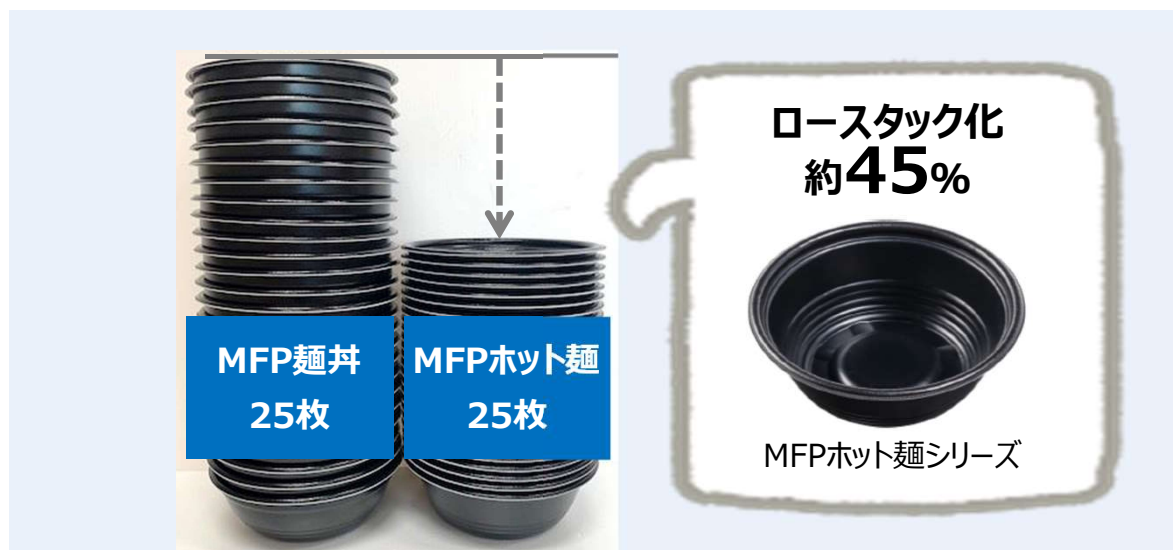
軽量化

2020年までに2013年度比
5%の軽量化・薄肉化目標



ロースタック化

ロースタック化により
在庫スペースだけでなく
段ボール費・運送費も改善



環境省
(プラスチック資源循環戦略)

2030年までにワンウェイのプラスチック(容器包装等)を累積で25%
排出抑制するよう目指します

外部評価

フツィー
ESG指標「FTSE4Good Index Series」及び
「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定 (2019年6月)



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

ロンドン証券取引所グループの「FTSE Russell」が開発した、環境・社会・企業統治 (ESG) に対して優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを反映するインデックス

世界の**1034社**の中の1社が **エフピコ**

日本の**179社**の中の1社が **エフピコ**

性別多様性に優れた企業を対象に構築される
「MSCI 日本株女性 活躍指数 (WIN)」に継続選定 (2019年6月)



2019 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



「MSCI」社が開発、職場において高いレベルで性別多様性を推進する企業を対象に構築

外部評価



受賞理由

- ✓ エフピコ方式のリサイクルを広く普及させた実績
- ✓ 障がい者雇用への取り組み

「The Japan Times Satoyama & ESG Awards 2019」受賞

里山里海の利活用や、ESG投資の普及推進に
顕著な功績のあった企業・団体を表彰

受賞者

【ESG部門】

年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）
株式会社エフピコ
株式会社丸井グループ

【Satoyama部門】

片山健也氏（ニセコ町長／北海道）
坪内 知佳氏（㈱GHIBLI 船団丸 代表／山口県）
特定非営利活動法人ウルシネクスト（岩手県）
鳥取県

外部評価：2019年 テレビ放映



月	番組名		特集内容		
			リサイクル	容器機能	生から惣菜
3月	フジテレビ	「めざましテレビ」			○
6月	NHK	「あさイチ」			○
	TBS	「Nスタ」			○
	関西テレビ	「ウラマヨ」		○	○
	中京テレビ	「キャッチ！」	○		
7月	FBS (福岡放送)	「バリはやッ！ZIP」			○
	山形放送	「やまがたサンデー5」	○		
	BS朝日	「わかるわかるチャンネル」	○		
9月	日本テレビ	「ヒルナンデス！」	○	○	○
	テレビ東京	「たけしのニッポンのミカタ！」	○	○	
	MBS (毎日放送)	「News ミント！」	○	○	○
	TBS	「グッとラック！」			○

12回

6回

4回

8回

物流・生産の合理化

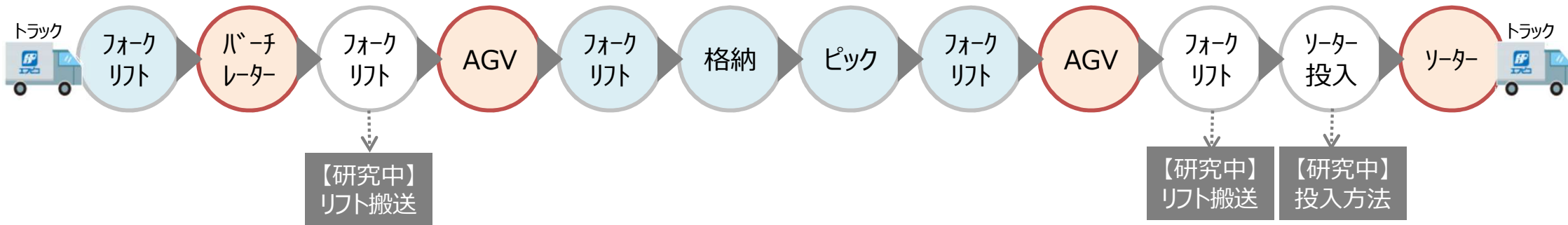


倉庫オペレーションの自動化・無人化へ



入荷

出荷



自動化・無人化

バッチレータ(垂直搬送)



AGV(水平搬送)



倉庫内(同じ階)の指定したルートで無人で横移動させます。

29台
導入

(2019年8月末時点)

ロータ(自動仕分け)



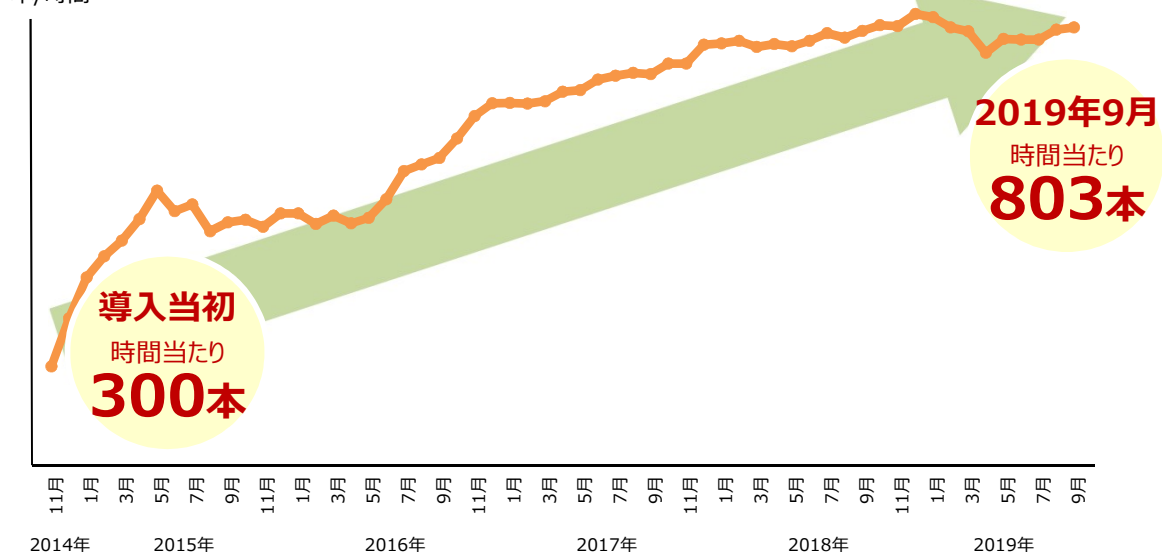
コツコツと改善の積み上げ

音声ピッキング



- ① 耳から指示
- ② 両手でピック
- ③ 言葉で応答

本/時間 音声ピッキング 生産性



パレット輸送 (横持ち配送)

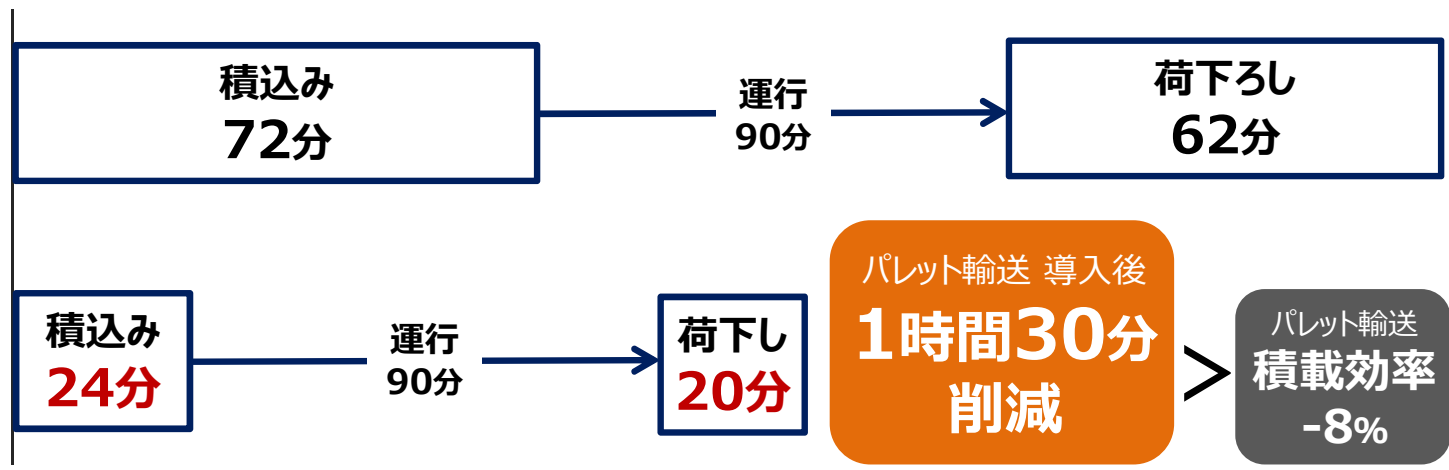
従来

100%手積み



新方式

80%パレット
20%手積み



物流費上昇を抑制する取組み (販売配送)

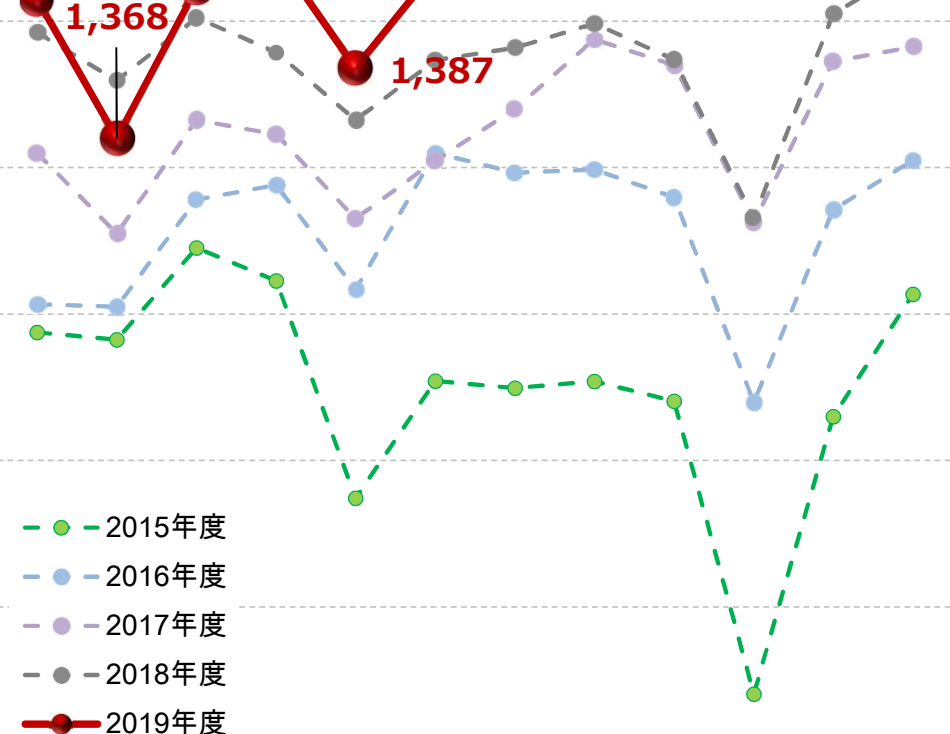
1台あたりの積載効率UP

2019年度上期
2015年度比

106.8%

(才数/台)

1,406 1,368 1,409 1,418 1,387 1,414



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

自社便比率UP

2018年9月

96.3%

2019年9月

96.9%

+0.6%
(≒1万ヶ入)

96.9%

3.1%

自社便

路線便

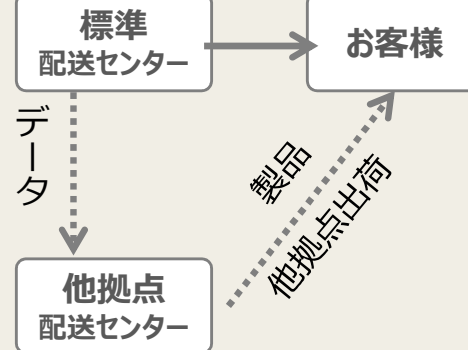
従来

他拠点から
路線便で翌日夕方着

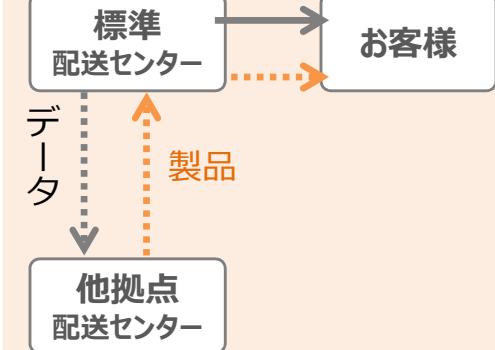
変更

標準配送センターへ
横持移動させてから
自社便で翌々日朝着

通常ルート

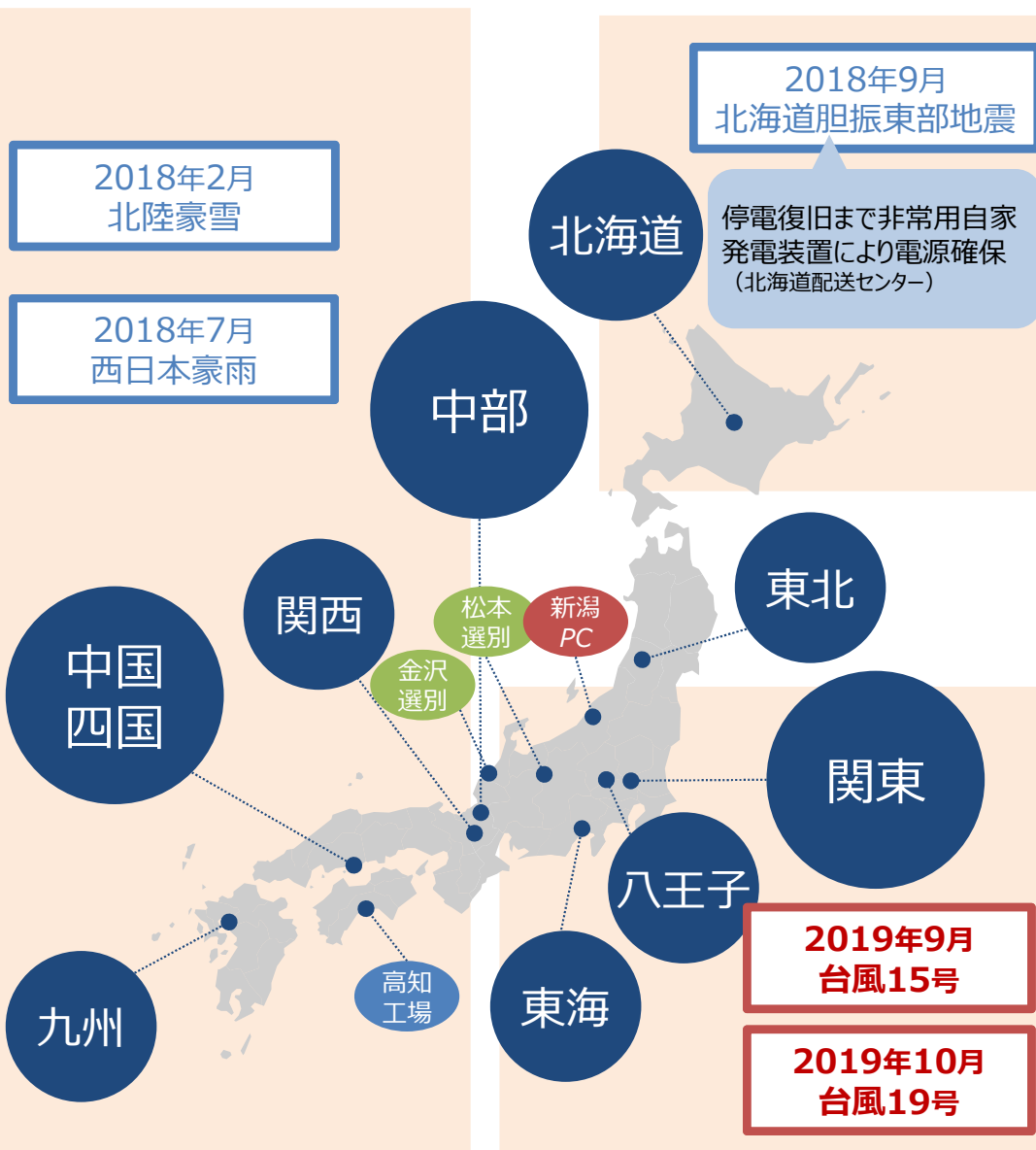


通常ルート



安定供給を支える強固な危機管理体制

直近の自然災害



災害時でも止まらない物流体制 “BCP(事業継続計画)”

全国21物流拠点すべてに非常用発電設備を設置。
72時間の電力供給を確保、燃料備蓄

実際の発電稼働を想定した訓練を年2回各センター
全員で実施

非常用発電設備

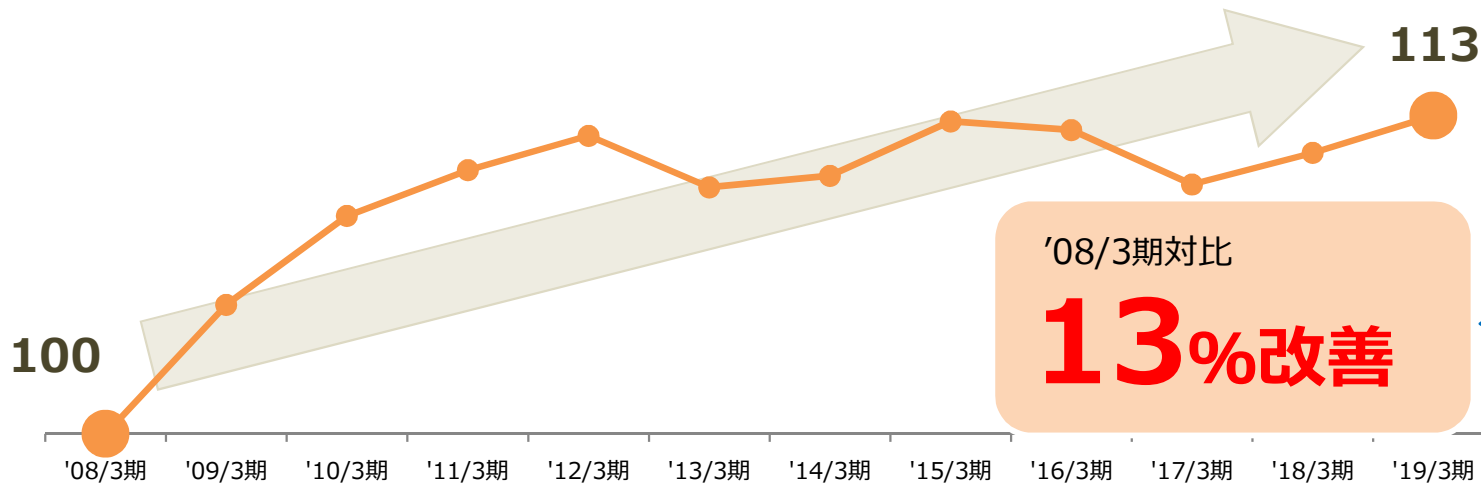


燃料タンク



生産部門における改善効果 及び 品質向上

時間あたりショット数推移 (指数)



様々な改善の積み上げ

- ✓ 段取り時間の短縮
- ✓ 設備の性能アップ
- ✓ 金型・抜型の改善
- ✓ オペレーターの技術向上

生産ショット

-0.1秒

生産能力

+3.8 ライン
に相当

$0.1 \text{秒/ショット} \times 74 \text{百万ショット} = 7.4 \text{百万秒} = 85 \text{日分}$
(月間稼働日数: 22日)

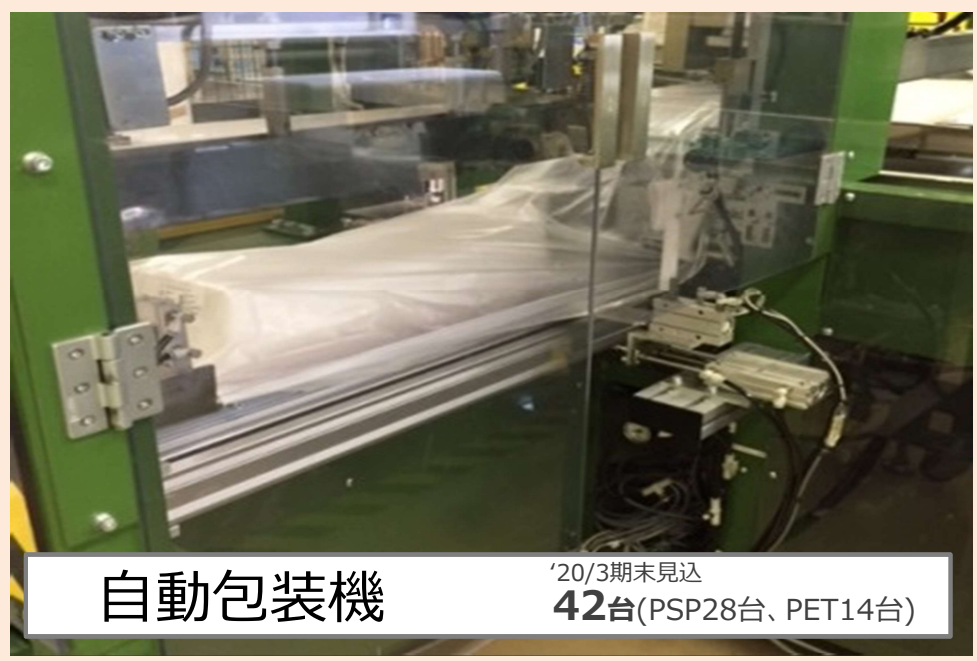
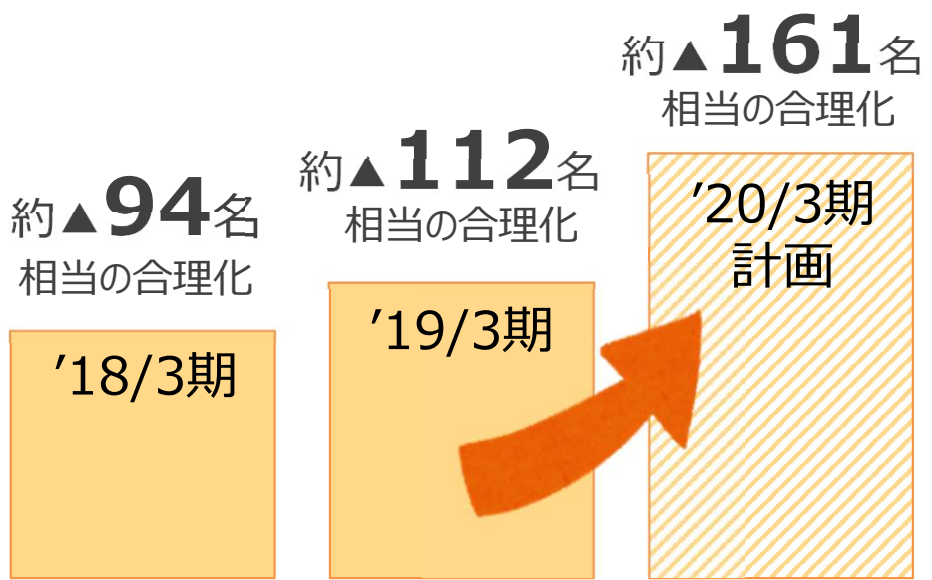
FSSC認証取得 (食品安全管理の認証)



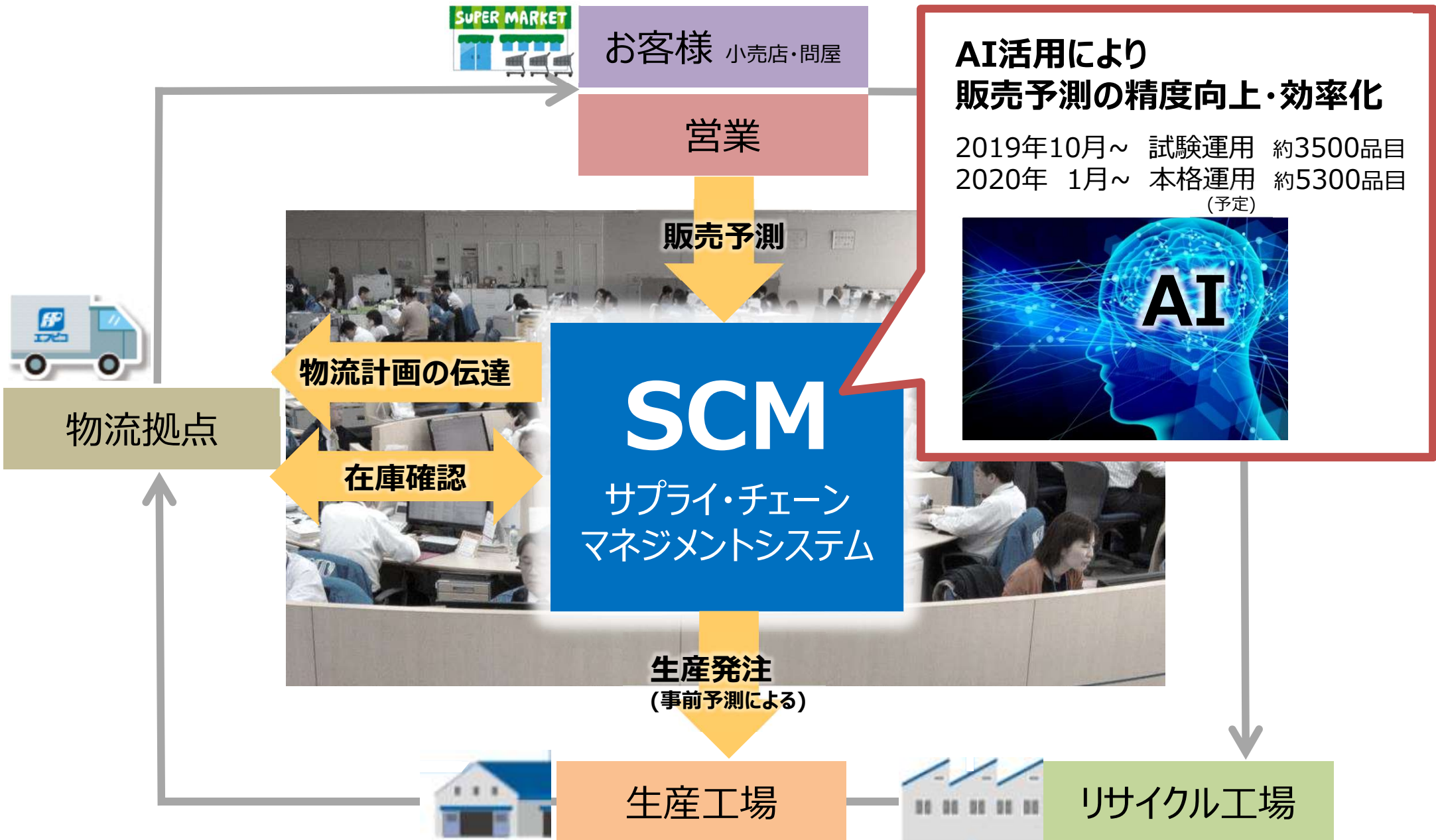
2020年6月施行の厚生労働省の
食品衛生法等の一部改正に基づく
PL (ポジティブリスト) 制度や
GMP (適正製造管理) に対応

- **2019年10月末現在**
6工場で登録完了
中部エコペット工場、中部第二工場、
関東下館工場 (第一・第二)、
笠岡工場 (第一・第二)
- **2020年6月までに主要工場へ拡大**

自動化による“作業効率”UP（生産部門）



SCMシステムにおけるAI活用



障がい者雇用 働く環境整備



能力を最大限に活かしたダイバーシティ経営



選別センター **10**事業所

自社 7事業所
業務請負 1事業所
事業提携 2事業所



折箱容器組立・二次加工

7事業所

自社 6事業所
業務請負 1事業所



容器製造(発泡・透明)

3事業所

2019年3月末時点エフピコグループ

障がい者雇用人数 : 359名
障がい者雇用率換算数 : 623.5名
障がい者雇用率 : 13.6%

障がい者雇用 に関する認定

- 2019年1月 (厚労省)
「H30年度 障害者活躍企業」認証(エフピコダックス株)
- 2019年10月 (東洋経済新報社)
「障がい者雇用率ランキング」 2位
※2014年~2017年 4年連続1位



フロアホッケー活動 に関する受賞・認定・登録

- 2019年3月 (東京都)
「心のバリアフリー」サポート企業として登録
- 2018年12月 (スポーツ庁)
「スポーツエールカンパニー」認定
- 2018年11月 (東京都)
「東京都スポーツ推進企業」認定
- 2018年2月 (東京ボランティア・市民活動センター)
第3回「企業ボランティア・アワード」受賞



フロアホッケーとは

スペシャルオリンピックスの冬季競技のひとつです。
エフピコは全日本競技大会や中国四国大会をスポンサリングし
各大会ではグループ社員がボランティアとして運営を支えています。

働く環境整備：独身寮PicoHouse建設

独身寮・障がい者グループホームへの投資

2017年1月	PicoHouse 1号館	(150戸)
2017年3月	PicoHouse 2号館	(102戸)
2020年3月	PicoHouse 3号館	(63戸)
2020年4月	障がい者グループホーム	(20戸)
2020年9月	PicoHouse 4号館	(18戸)

PicoHouse
合計(予定)
333戸



2020年3月完成予定

3号館



障がい者グループホーム 2020年4月完成予定
PicoHouse4号館 2020年9月完成予定

4号館



成長戦略



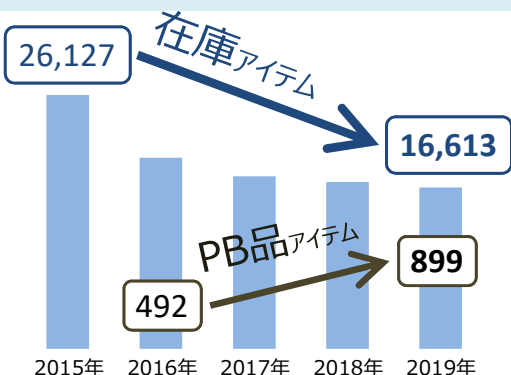
新たなビジネスモデル挑戦開始

商品仕入

MD

アイテム選定、在庫集約
PB商品の充実

エフピコ商事



エフピコグループ インフラ

グループ問屋

地域に密着した営業力

エフピコインターパック
エフピコ上田
エフピコイシダ
アペックス

エフピコみやこひも

各地域の有力問屋

全国の物流
ネットワーク

情報
システム

新たなビジネスモデル挑戦開始



エフピコグループのインフラ活用

パックマーケット **PACK MARKET**



MD品

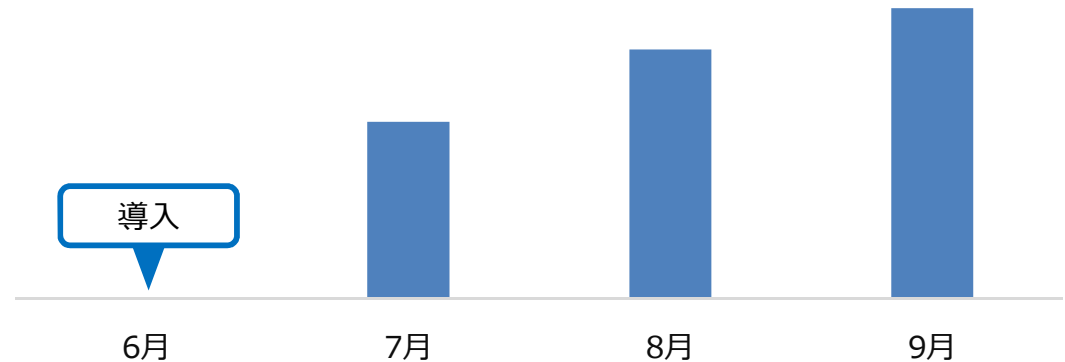
物流

資材消耗品取扱高 (イメージ)



6月スタート以降、順調に拡大中

パックマーケットの実績



更なる拡大に向けて
グループ問屋 各地域の有力問屋と協業



地場の
マーケット

小規模顧客の
ニーズ収集

設備投資・キャッシュフロー

営業キャッシュフロー

● 設備投資 180~200億 目途

中長期的な成長に向け、高付加価値製品の供給体制を充実

【重点投資分野】

- ・世界初となる新素材の製品化に向けた投資
- ・エコ原料、エコ製品の市場要請

● 連結配当性向 30% 目途

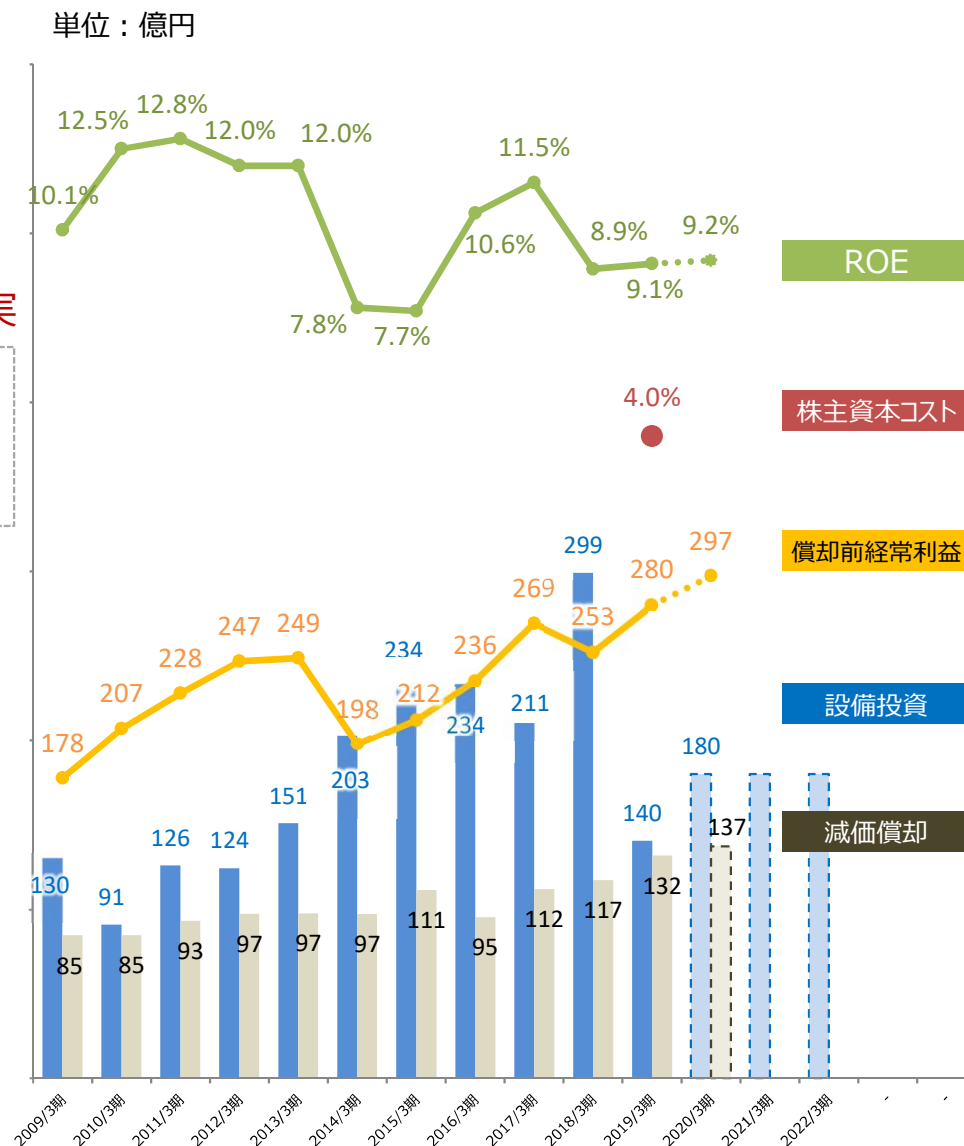
安定的かつ継続的な配当実施
1株当たり利益の最大化

● 自己株式の取得

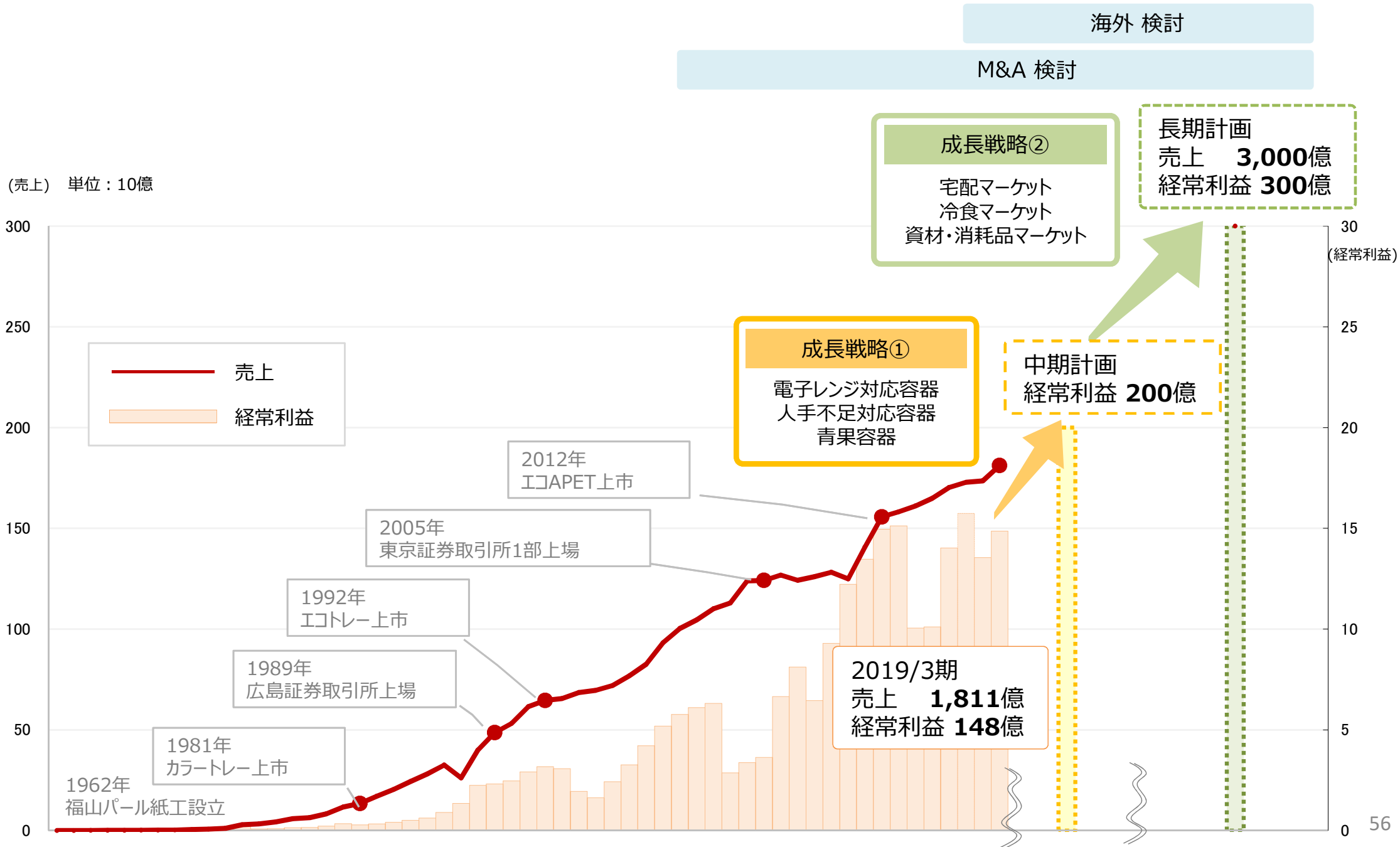
株価水準により判断

● 有利子負債調整

有利子負債の有効活用と安全性の確保

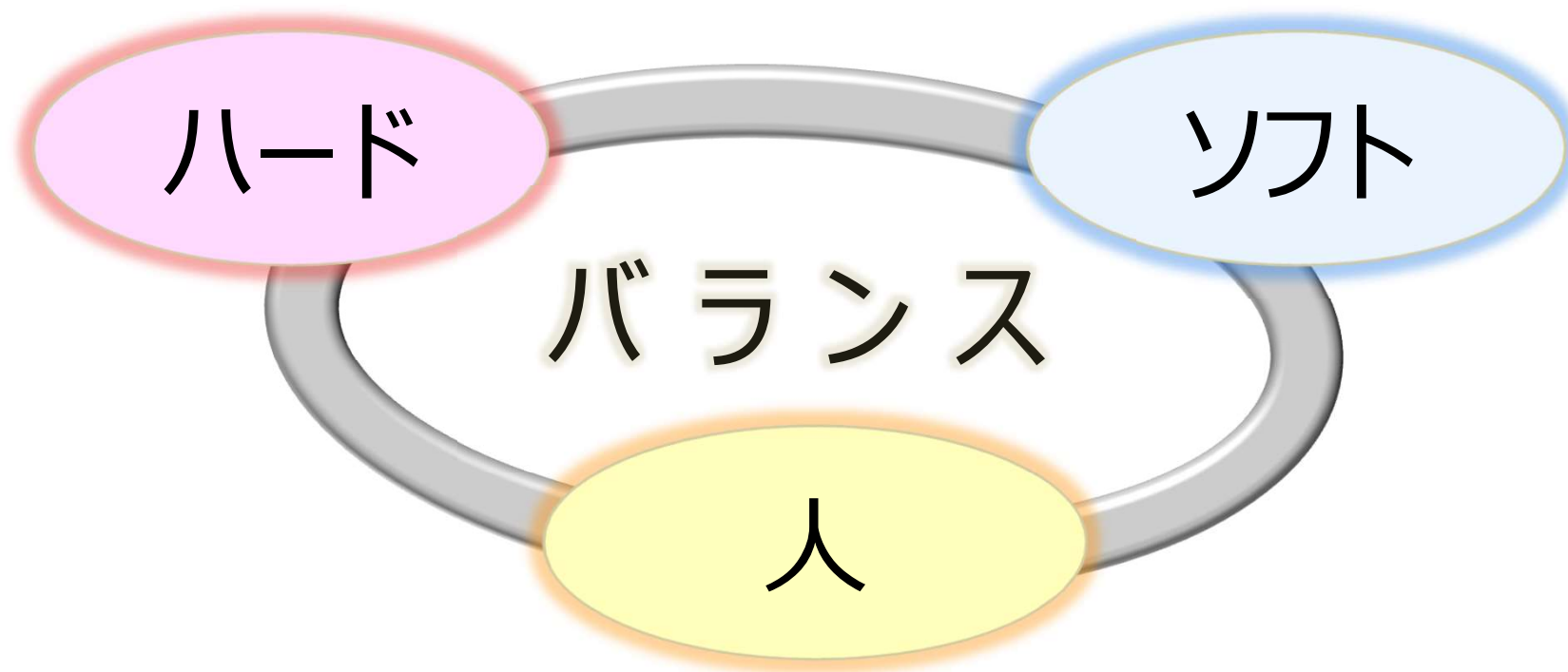


エフピコの成長戦略



企業価値拡大に向けて

「もっとも高品質で環境に配慮した製品を
どこよりも競争力のある価格で
必要なときに確実にお届けする」



FPCO-DNAを継承し、「現場主義」・「顧客第一主義」のもと
一歩先を見通した提案をし続けます

添付資料

用語解説

PS : ポリスチレン

PET : ポリエチレンテレフタレート

PP : ポリプロピレン

マルチFP(MFP)容器 : -40℃~+110℃の耐寒・耐熱性、耐油性及び断熱性に優れた発泡PS(ポリスチレン)容器

マルチソリッド(MSD)容器 : マルチFPの端材を活用し、その特性を維持しつつシャープな形状を実現した非発泡PS容器
耐熱温度+110℃

新透明PP容器 : 標準グレードのPP原料から、OPSと同程度の透明度を実現した透明PP容器 耐熱温度+110℃

OPS容器 : 従来からの二軸延伸PS(ポリスチレン)シートから成形した容器 耐熱温度+80℃

エコトレー : スーパーで店頭回収されたPS容器と工場内端材を原料とするリサイクル発泡PS容器 (1992年販売開始)

エコAPET容器 : スーパーで店頭回収されたPET透明容器・PETボトル及び工場内端材を原料とする
リサイクルPET(ポリエチレンテレフタレート)透明容器 耐熱温度+60℃ (2012年販売開始)

エコOPET容器 : エコAPET容器と同じ原料を使用する二軸延伸PETシートから成形した、耐油性に優れ、透明度も高くOPS容器と同等の耐熱性を実現したリサイクルOPET透明容器 耐熱温度+80℃ (2016年販売開始)

配送センター : 製品をケース単位で出荷

ピッキングセンター : 製品及び商品を小分けピッキングし出荷

選別センター : 店頭回収したPS容器を白と色に、店頭回収した透明容器をPS・PET・PP等の素材に、それぞれ選別

世界初の素材・シート シート加工メーカーからの脱却

PP:ポリプロピレン

- ☆ 耐熱性がある: +110°C
- ☆ 耐油性に優れる
- ★ 発泡が難しく、軽量化しにくい
- ★ コシ強度が低い
- ★ 耐寒性に劣る
- ★ 透明性が出にくい



新透明PP

- ☆ 耐熱性がある: +110°C
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 透明性がOPSと同等

PS:ポリスチレン



PSP:発泡PS

- ☆ 成形性が良い
- ☆ 原材料比率が低い
- ☆ 軽量化が可能
- ☆ 断熱性が高い
- ★ 耐熱性が低い: +70°C
- ★ 耐油性に劣る



MFP:マルチFP :発泡PS

- ☆ 成形性が良い
- ☆ 原材料比率が低い
- ☆ 断熱性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 幅広い温度帯をカバー
-40°C ~ +110°C
- ☆ コシ強度がある
- ☆ 軽量化が可能

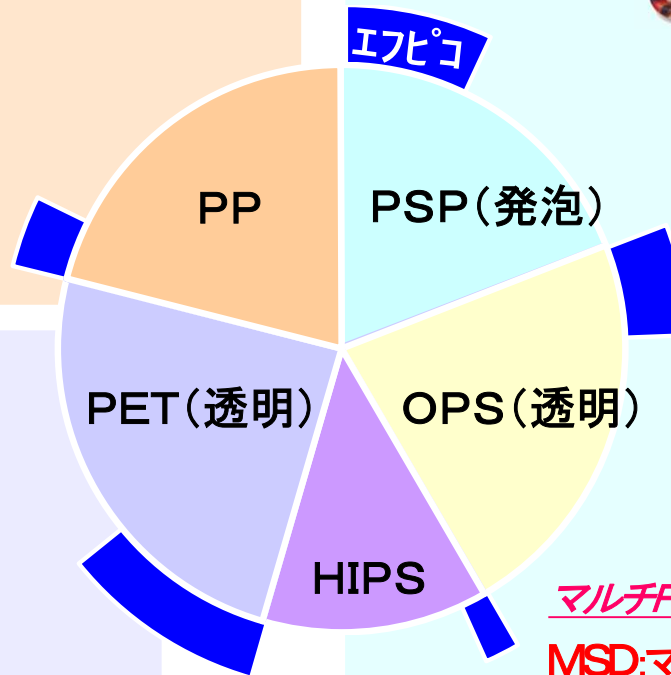


PET:ポリエチレンテレフタレート

- ☆ 最後発樹脂
- ☆ 透明性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性が低い: +60°C
- ★ 比重が大きい

OPET:二軸延伸PET

- ☆ 透明性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 耐熱性がOPSと同等: +80°C
- ☆ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成形が難しい



マルチFP端材の循環

MSD:マルチノド

:非発泡PS

OPS:二軸延伸PS

- ☆ 透明性がある
- ☆ 耐熱性: +80°C
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界

※ 中央円グラフ:素材別 シェア (重量ベース)

'11/3期 '12/3期 '13/3期 '14/3期 '15/3期 '16/3期 '17/3期 '18/3期 '19/3期

2010年2月 マルチFP (MFP) 製品 上市



2012年2月 マルチソリッド (MSD) 製品 上市



2012年5月 エコAPET 製品 上市



2010年11月

中部PETリサイクル工場

2014年6月

西日本ペットボトルリサイクル

2016年3月

中部エコペット工場

2017年8月

関東エコペット工場

2012年11月 O P E T 製品 上市



2012年7月

関東八千代工場

2012年6月 新透明 P P 製品 上市

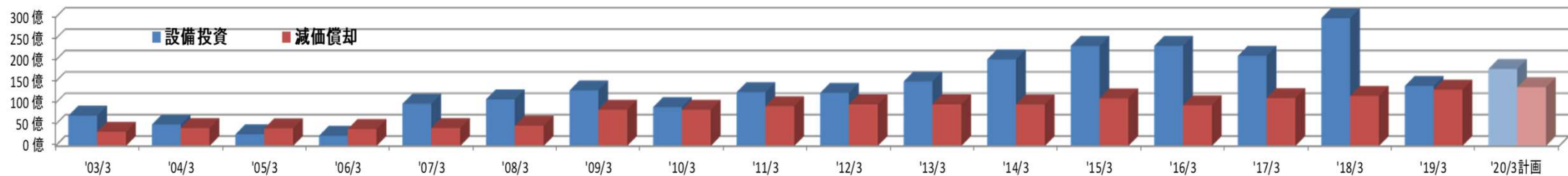


設備投資 推移

	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期	'14年3月期	'15年3月期	'16年3月期	'17年3月期	'18年3月期	'19年3月期	'20年3月期 計画
生産	山形工場				下館第二工場			太洋興業 日本ハール容器 ウツド工場	ダイヤフーズ フードバッグ設備 アルライト				「エフピコ 総合研究所」		中部エコペット工場	関東エコペット工場		
					中部第二工場		九州第二工場	北海道工場増設	関東八千代工場							自動化		
																透明容器の強化		
物流	東日本ハブC	九州HC	関西HC	北海道HC		関東八千代C						九州物流拠点	関西物流拠点	音声ビックニング				
						新北海道HC			新中部PC		関東PC拡充	福山クロスックC	八王子配送C					
																物流ネットワーク整備		福山・中部HC拡充
リサイクル					中部・東北・九州リサイクル工場			容器選別センター全国展開	洗浄ライン 設備刷新	中部リサイクル工場	新リサイクルネットワーク構築			NPR				
									中部 PETメカニカルリサイクル									関東・九州能力増強
																		PETリサイクル事業 強化
その他					東海HC建物	本社事務所	福山地区土地・建物	ユカ商事	九州物流拠点土地	八王子拠点土地	みやこひも	ワンルームタイプ住宅	フィルム工場	ワンルームタイプ住宅	ワンルームタイプ住宅	フィルム印刷工場	ワンルームタイプ住宅	ワンルームタイプ住宅
						関東新工場土地	中部地区土地・建物	インターハック	九州物流拠点土地	八王子拠点土地								グループホーム

単位:百万円

設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	15,087	20,258	23,377	23,383	21,060	29,891	14,038	18,000
有形	6,138	4,248	2,621	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,352	12,093	14,783	19,751	23,051	23,058	20,790	29,342	13,442	17,700
無形	958	789	120	238	362	254	841	263	233	329	303	506	325	324	269	549	595	300
内金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,833	1,946	1,425	2,151	2,416	1,777	2,028	1,485	1,462	1,870
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	9,746	9,703	11,136	9,526	11,183	11,706	13,170	13,730
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,062	1,148	1,105	1,242	1,223	1,197	1,159	1,310



>> '09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

環境省 プラスチック資源循環戦略

カナダ・シャルルボアG7サミット 「海洋プラスチック憲章」

代替品が環境に与える影響の全体像を考慮し、使い捨てプラの unnecessary 使用を最大限に削除する。

2030年までに100%のプラスチックが、再使用可能、リサイクル可能又は、実行可能な代替品が存在しない場合には、熱回収可能となるよう産業界と協力する。

2030年までにプラスチック包装の最低55%をリサイクル又は再使用し、2040年までには全てのプラスチックを熱回収含め100%有効利用するよう産業界及び政府の他のレベルと協力する。

適用可能な場合には、2030年までにプラスチック製品においてリサイクル素材の使用を少なくとも50%増加させるべく産業界と協力する。

環境省 プラスチック資源循環戦略 「マイルストーン」

リデュース

消費者はじめ国民各界各層の理解と連携協働の促進により、代替品が環境に与える影響を考慮しつつ、**2030年までに、ワンウェイのプラスチック（容器包装等）をこれまでの努力も含め累積で25%排出抑制**するよう目指します。

リユース・ リサイクル

2025年までにプラスチック製容器包装・製品のデザインを、容器包装・製品の機能を確保することとの両立を図りつつ、技術的に分別容易かつリユース可能又はリサイクル可能なものとするを旨します。（それが難しい場合にも、熱回収可能性を確実に担保することを旨します。）

2030年までに、プラスチック製容器包装の6割をリユース又はリサイクルするよう、国民各界各層との連携協働により実現を旨します。**2035年までに、すべての使用済みプラスチックをリユース又はリサイクル、それが技術的経済的な観点等から難しい場合には熱回収も含め100%有効利用**するよう国民各界各層との連携協働により実現を旨します。

再生利用・ バイオマス プラスチック

適用可能性を勘案した上で、政府、地方自治体はじめ国民各界各層の理解と連携協働の促進により、**2030年までに、プラスチックの再生利用（再生素材の利用）を倍増**するよう目指します。

導入可能性を高めつつ、国民各界各層の理解と連携協働の促進により、**2030年までに、バイオマスプラスチックを最大限（約200万ト）導入**するよう目指します。

関連省庁・団体との連携

関連省庁・団体の活動

エフピコの参加状況

環境省

- **プラスチック資源循環戦略**
…2019年6月のG20で、日本の「プラスチック資源循環戦略」をアピール
- **プラスチック・スマート**
…“プラスチックとの賢い付き合い方”を全国的に推進し、国内外に発信

- 業界団体として小委員会に参加
- キャンペーンHPにて「トレーtoトレー」「ボトルtoトレー」の取組を掲載

経済産業省

- **クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス**
…廃棄物の適正管理、プラスチック製品の3Rの取組など
海洋プラスチック問題の解決に向けたイノベーションを推進する企業連合

- 技術部会 副部長会社としてアライアンスに参加

農林水産省

- **プラスチック資源循環アクション宣言**
…食品産業の業界団体・企業から、自主的取り組みを募集

- 農林水産省HPにて「リサイクル」「リデュース」「啓発活動」の取組を掲載

日本経済団体連合会

- **SDGsに資するプラスチック関連取組事例集**
…プラスチックの資源循環をより一層推進するとともに
海洋プラスチックごみ問題に貢献する観点から、
企業・団体による取組事例を収集

- 日本経済団体連合会HPにて「リサイクル」「リデュース」「啓発活動」の取組を掲載

イニシアティブ

- **気候変動イニシアティブ (Japan Climate Initiative)**
…脱炭素化をめざす世界の最前線に日本から参加することを宣言し、
気候変動対策に積極的に取り組む団体のネットワーク

- 設立時より参加表明

【施設見学のご案内】

随時受付: 経営企画室 03-5325-7756

最新鋭の 生産 ~ 物流 ~ リサイクル をご覧いただけます。

関東

JR東日本 古河駅 ~ 30分



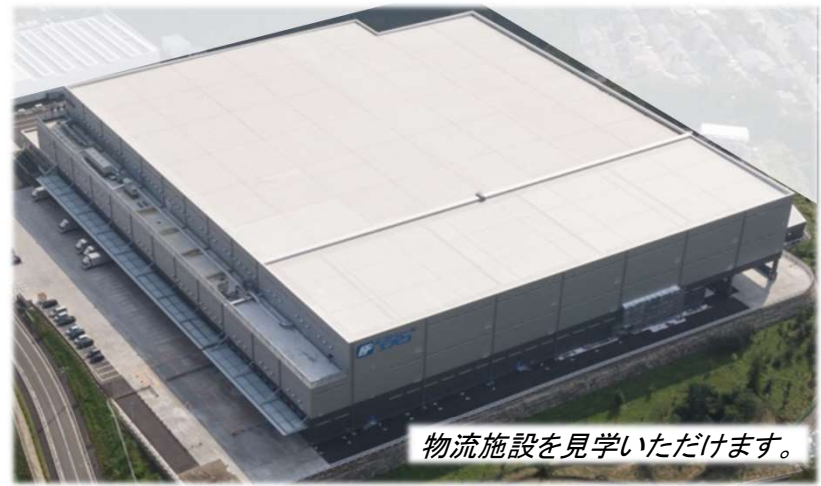
OPET生産設備



エコペット工場
2017年8月完成

八王子

JR東日本 秋川駅 ~ 20分



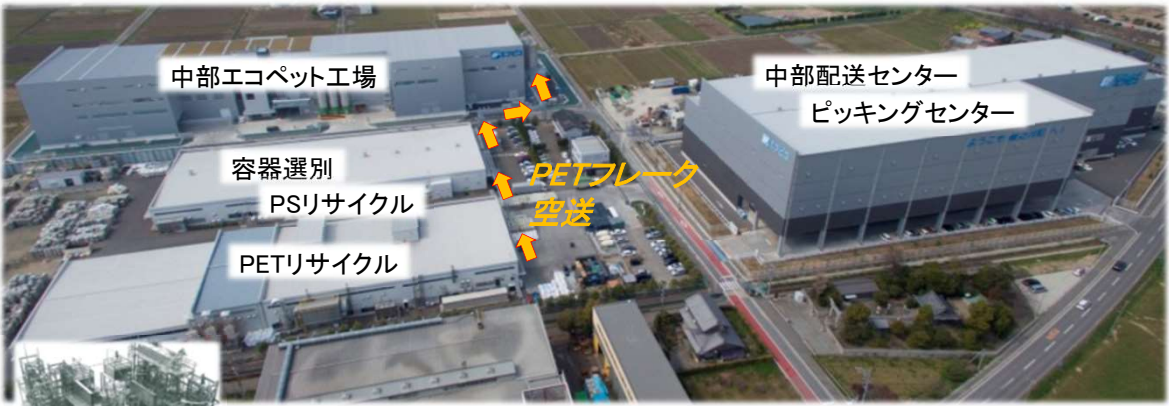
福山

JR西日本 福山駅 ~ 30分



中部

JR東海 岐阜羽島駅 ~ 20分



PET効ニカルリサイクルプラント×2